

誰でもできる 作曲ソフト4

取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0408

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

本ソフトは、**PDFマニュアル**を含めてインストールされます。

ソフトをインストールすると、パソコン画面上に
PDF マニュアルのショートカットアイコンが表示されます。

PDF マニュアルには、「**ソフトの画面・各部の説明**」と「**よくあるお問い合わせ**」
を掲載しておりますので、本書とあわせてご覧ください。

製品ご利用の前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



目次

動作環境・その他	02
----------	----

インストール方法とアンインストール方法	03～06
---------------------	-------

起動方法	07～08
------	-------

「誰でもできる作曲ソフト4」について	09
--------------------	----

1から曲を作成して、保存する

1. 拍子を選んで、新規作成画面を表示する	10
2. コードを設定する(設定・変更・削除)	11～12
3. 設定したコードを確定する	13
4. 音符入力の前に 自動作曲されたメロディーを削除する	14
5. 音符を入力する前に確認すること	15
6. 音符を入力する	16～18
7. 入力した音符を五線譜に反映する	19
8. ページを切り替えて音符を入力する	20
9. 音符入力画面を閉じる	21
10. テンポを設定する	22
11. 曲を視聴する	23
12. 曲に歌詞を設定する	24～27
13. 歌詞付きのWAVEファイルを作成する	28
14. 歌詞付きの曲を視聴する	28
15. 作曲した曲を保存する	29～31

自動作曲機能を使って曲を作成する

1. 4小節の曲(例)のメロディーを作る コードを変更した場合 サンプルコード進行を使用した場合	32 33 34
2. メロディーを固定する	35
3. メロディーの音色を変更する	35～36
4. リズムパターンを変更する	36
5. ベースパターンを変更する	37
6. ドラムパターンを変更する	38
7. 音量を変更する	39
8. 小節をコピーして貼り付ける	40～41

保存した曲を開く	42
----------	----

その他の機能・操作説明

小節の削除	43
メロディーのコピーと貼り付け	44～45
自動コードを設定する	46
各小節ごとに音色を設定する	47～49
各小節ごとに音量を設定する	50～51
各小節ごとにリズムパターンを設定する	52～53
各小節ごとにベースパターンを設定する	54～55
各小節ごとにドラムパターンを設定する	56～57
曲全体のアルペジオパターンを設定する	58
各小節ごとにアルペジオパターンを設定する	59～60
曲全体のステレオ設定をする	61
各小節ごとにステレオ設定をする	62～63
ドラムパターンを編集する	64～66
パワードラムを設定する	67
パワードラムをデータとして保存する	68～70
パワーベースを設定する	71
パワーベースをデータとして保存する	72～74
クリスタルコードを作成する	75～79
楽器チャンネルを設定する	80～82
コードを作成する	83～85
楽譜を画像として保存する	86
三連符を作成する	87～89

付録：ピアノコード一覧	90～92
-------------	-------

お問い合わせ窓口	94～裏表紙
----------	--------

動作環境・その他

■対応OS : Windows 7 / 8.1 / 10

※Mac OSには対応していません。

※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。また、弊社サポートも対象外です。

■CPU : Intel プロセッサ 1GHz以上 (または同等の互換プロセッサ)

■メモリ : 2GB以上

■モニター : 1280×1024以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境

※画面の解像度が1280×1024未満、画面の文字サイズ設定によっては『誰でもできる作曲ソフト4』の画面が正常に表示されません。

■CD-ROM : 倍速以上

■ハードディスク : 1GB以上の空き容量(インストール時)

■対応ファイル形式 : 保存形式 : MIDI / WAVE 画像保存 : BMP

■その他 : インターネット接続環境必須

※Windows対応のオーディオ・インターフェースまたはサウンド・カードが必須です。

※アップデートや最新情報の確認を行う際にはインターネット接続環境が必要です。

【OSについて】

※上記OSが正常に機能し、OSの最低動作環境を満たしていることが前提です。

※日本語版32bitOSのみの対応です。各種ServerOSには対応していません。

64bitOSでは、WOW64(32bit互換モード)で動作します。

※Windows 8.1 / 10では、デスクトップモードのみ対応です。

※最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。

※管理者権限を持ったユーザーでお使いください。

※マイクロソフトのサポート期間が終了したOSでの動作は保証いたしません。

【ご注意】

※「誰でもできる作曲ソフト」「誰でもできる作曲ソフト2」「誰でもできる作曲ソフト3」と互換性があります。

他のソフトとの互換性はありません。

※パソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。

※歌詞の入力はひらがな文字のみとなります。カタカナ、漢字、アルファベット等は使用できません。

※MIDI / WAVE / BMP以外の形式で保存はできません。

※全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。

※著作権を遵守してご利用ください。

※メロディーを作成するには先にコードの作成が必須となります。メロディーだけを作成することはできません。

※1小節に複数のコードを設定することはできません。

※小節ごとに異なるコード数を入れることはできません。

【サポートについて】

※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。

また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。

※パソコン本体や各種ハードウェア、また各種ソフトウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。

【その他】

※本ソフトを著作権者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。

改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。

※本ソフトは1ソフト・1PC・1ユーザーとなります。

※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。

※本ソフトにはネットワーク上でデータを共有する機能はありません。

また、ネットワークを経由してソフトを使用することはできません。

※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。

※著作権者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。

【商標について】

※Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Intelはアメリカ合衆国および他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。

※Mac OSは米国および他国のApple Inc.の登録商標または商標です。

※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、登録商標または商標です。

※本製品は、株式会社アイアールティーのオリジナル製品です。

インストール方法とアンインストール方法

インストール方法

お使いのパソコンに『誰でもできる作曲ソフト4』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

1GB以上の空き容量（インストール時） 別途データを保存するための空き容量が必要です。

○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CDが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。
右のような画面が表示されましたら、**次へ** ボタンをクリックしてください。
（自動再生画面が表示された場合、6 ページをご参照ください。）

パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。

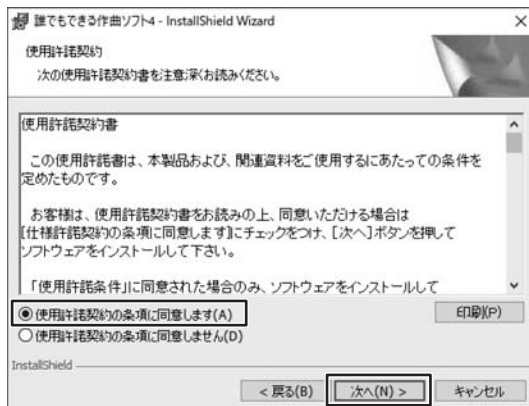
その場合は、[PC]※→[CD または DVD ドライブ]→[SETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

※Windows 10、Windows 8.1 は [PC]
Windows 7 は [コンピューター]



2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、
使用許諾契約の条項に同意しますをクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。



インストール方法とアンインストール方法

3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。

インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、
インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリック
してください。

※通常は、インストール先を変更しなくても結構です。



4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。

よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。
インストールが始まります。

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合、
6ページをご参照ください。



5 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示
されますので **完了** ボタンをクリックしてください。




インストール方法とアンインストール方法

アンインストール方法


お使いのパソコンから『誰でもできる作曲ソフト4』をアンインストール（削除）する場合の操作方法です。本ソフトを起動している場合は終了してください。

1 「スタートボタン」→「アプリと機能」を選択します


Windows 10の場合

スタートボタン  を右クリックします。
右クリックメニューが表示されますので
「アプリと機能」を選択します。

Windows 8.1の場合

スタートボタン  を右クリックします。
右クリックメニューが表示されますので
「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選択します。

Windows 7の場合

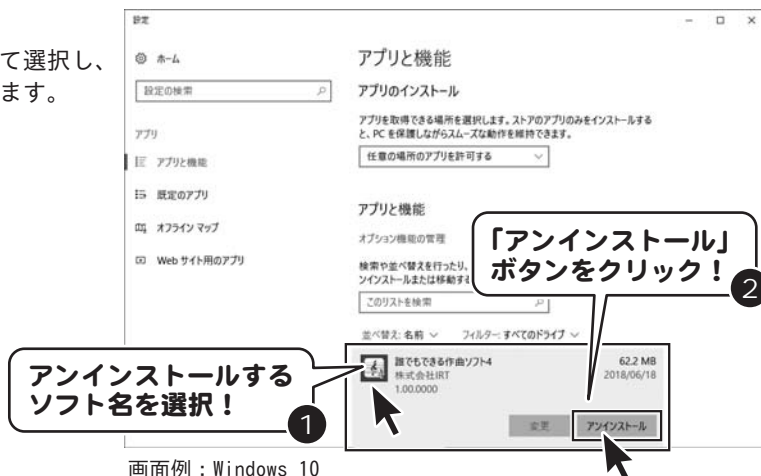
スタートボタン  をクリックして
「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選択します。



画面例：Windows 10

2 ソフトを選択して、アンインストールを実行します

アプリと機能画面が表示されますので、
アンインストールするソフトをクリックして選択し、
「アンインストール」ボタンをクリックします。



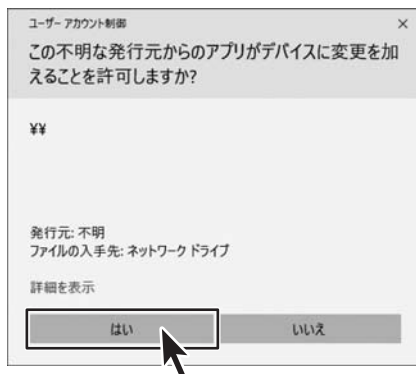
画面例：Windows 10

インストール方法とアンインストール方法

インストール中またはアンインストール中に下記のような画面が表示された場合
下記の操作を行って、インストールまたはアンインストール作業を続けてください。



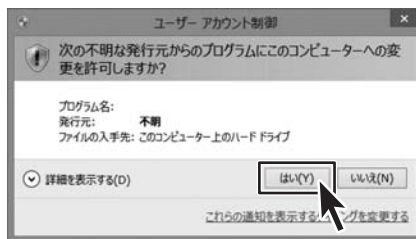
Windows 10で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



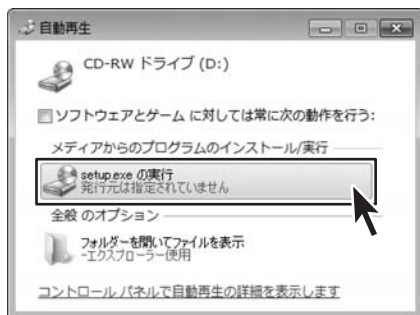
Windows 10で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。



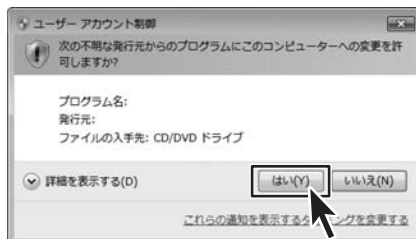
Windows 8.1で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 8.1で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。



Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合
はい ボタンをクリックしてください。


起動方法


より良い環境でソフトを使用していただくために、**IRTホームページ** (<http://irtnet.jp/>) をご確認ください、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。

スタートメニュー (Windows 7、Windows 10) からの起動



画面例:Windows 10

Windows 10 の場合、デスクトップ左下のスタートボタン  をクリックして「I」→「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト4」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

Windows 7の場合、デスクトップ左下のスタートボタン  をクリックして「すべてのプログラム」→「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト4」→「誰でもできる作曲ソフト4」をクリックしますと本ソフトが起動します。

起動方法

デスクトップショートカットからの起動

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「誰でもできる作曲ソフト4」のショートカットアイコンが作成されます。ダブルクリックすると、ソフトが起動します。



「誰でもできる作曲ソフト4」
デスクトップショートカットアイコン



誰でもできる作曲ソフト4_PDFマニュアル
デスクトップショートカットアイコン

※PDFマニュアルには、
画面・各部の説明、よくある質問を掲載しています。

スタート画面 (Windows 8.1) からの起動



Windows 8.1の場合、スタート画面の画面左下に表示されている (↓) ボタンをクリックします。アプリ画面の「IRT」→「誰でもできる作曲ソフト4」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

誰でもできる作曲ソフト4の概要

『誰でもできる作曲ソフト4』は、コードを入力するだけでオリジナル曲を作成できるソフトです。

コードを入力して楽譜を作成し、複数のメロディー、コード、ベース、アルペジオの音色と多様なリズム、ベース、ドラムのパターンから作曲します。

また、作成した曲に歌詞を付けてソフトに歌わせることもできます。

保存はMIDI形式や歌付きのWAVE形式として保存、作成した楽譜は画像ファイルで保存でき、別ソフトに読み込んで印刷することもできます。

「1から曲を作成・保存する」（10～31ページ）は、コードの設定、音符の入力など基本的な操作の流れになります。

「自動作曲機能を使って曲を作成する」（32～41ページ）では、自動作曲機能を使って曲を作り、曲全体のリズム、ベース、ドラムなどの種類を設定したり、音色や音量の設定、小節のコピーして貼り付ける操作をご案内しています。

画面説明は、PDFマニュアルに掲載していますので、本書とあわせてご覧ください。

1 お好きなコードを入力！

The screenshot displays the software's main interface. At the top, there's a menu bar with options like 'ファイル(F)', 'サンプル(S)', '曲全体の設定(E)', '小節ごとの設定(S)', and '音符入力(M)'. Below the menu is a toolbar with icons for various functions. The main area is divided into several sections: a chord input section with a grid of buttons for chords (C, C#, D, D#, E, F, F#, G, G#, A, A#, B, Cm, C#m, Dm, D#m, Em, Fm, F#m, Gm, G#m, Am, A#m, Bm), a section for selecting the instrument (voice or instrument) and channel, and a piano roll section. The piano roll shows a sequence of chords (Dm, Em, G, G) over time. A text box on the right side of the piano roll states: 'マウス操作でかんたんに音符の入力・移動・削除ができます。' (You can easily input, move, and delete notes with mouse operations.)

2 作曲 ボタンをクリックするとコードにあわせて自動作曲！

1から曲を作成・保存する

1から曲を作成・保存する

「誰でもできる作曲ソフト4」で、1から曲を作成します。
ここでは、「茶摘み」の楽譜の前半4小節の曲を作る説明をします。

♩=110

G G G A7

な つ も ち か づ く は ち じゅ う は ち や

1 拍子を選んで、新規作成画面を表示します

「誰でもできる作曲ソフト4」を起動します。
※本ソフトは、起動時に曲のサンプルデータが
入力されています。

[ファイル]メニューから[新規作成]をクリックします。
表示されるメニューから、作成する曲の拍子
を選択します。
(ここでは、[4拍子の曲を作る]を選択します)

確認画面が表示されますので、内容を確認して、
はい ボタンをクリックすると、新規の画面が
表示されます。

memo

3拍子と4拍子

4拍子の例



例えばこの場合、「1小節の拍を
4分音符とする4拍子」となります。

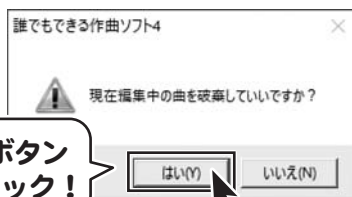
3拍子の例



例えばこの場合、「1小節の拍を
4分音符とする3拍子」になります。



[ファイル]メニュー
→[新規作成]→拍子を選択！
(例：4拍子を選択)



1から曲を作成・保存する

2 コードを設定します

曲を作成するには、まずコードを設定する必要があります。(コードを設定しないと音符を入力できません)
巻末にピアノコード一覧の参考資料がありますのでご覧ください。
コードは、メロディーをつけた後でも変更できます。「自動コード」機能を使ってコードを再設定することもできます。(46ページ)

まずは、曲のコードを設定します。

サンプル曲「茶摘み」のコード例として、「G」→「G」→「G」→「A」の順番でコードボタンをクリックします。
コード表示ボックスには、クリックした順にコードが設定されます。

コード表示ボックスのコードは、クリックするごとに文字の色が黒→青→赤と変わります。
下記の表を参考にコードを設定してください。

例:

A

A

黒い文字の状態(コード:A)
↓
青い文字に変わります。(コード:A7)

コードをクリック!

①「G」→「G」→「G」→「A」の順にコードボタンをクリックします

②コードボタンをクリックした順番に左端のボックス(1小節目)から設定されます

※コードは偶数個で設定してください。

memo

文字の色でコードが変わります

コードボタンをクリックして設定したコードは、はじめは文字の色が黒になっています。
設定したコードの文字の上をクリックすると、文字の色が黒→青→赤と変わります。
色によって、コードの種類が異なりますので下記の表を参考にしてください。

コードボタン

文字色	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
黒	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
青	C7	C#7	D7	D#7	E7	F7	F#7	G7	G#7	A7	A#7	B7
赤	CM7	C#M7	DM7	D#M7	EM7	FM7	F#M7	GM7	G#M7	AM7	A#M7	BM7

C~B(上段)
黒:メジャー
青:セブンス
赤:メジャーセブンス

Cm~Bm(下段)
黒:マイナー
青:マイナーセブンス
赤:マイナーメジャー7

	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
黒	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
青	Cm7	C#m7	Dm7	D#m7	Em7	Fm7	F#m7	Gm7	G#m7	Am7	A#m7	Bm7
赤	Cm M7	C#m M7	Dm M7	D#m M7	Em M7	Fm M7	F#m M7	Gm M7	G#m M7	Am M7	A#m M7	Bm M7

1から曲を作成・保存する

入力したコードを変更するには

コードの上にあるボックスが緑色になっていると、コードボタンをクリックして入力し直すことができます。

緑色にするには、変更するコードの上の茶色のボックスをクリックします。

緑色になりましたら、変更するコードボタンをクリックすると、そのコードが入力されます。

コードを変更できました

コード変更が終わりましたら、右端のボックスをクリックして緑色にします。
緑色の位置が一番右端にあるときは、コードボタンをクリックすると、曲の終了位置にコードが追加され、曲が長くなっていきます。

入力したコードを削除するには

クリア ボタンをクリックします。
設定されている後ろのコードから順に削除されます。

茶色 **緑色**

C C# D D# E F F# G G# A A# B クリア
Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m Am A#m Bm

G G G A

茶色のボックスをクリック!

緑色になります。

緑色

C C# D D# E F F# G G#
Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m

G G G A

変更するコードのボタンをクリック!

C C# D D# E F F# G G#
Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m

G Em G A

右端のボタンをクリックして緑色にする!

C C# D D# E F F# G G# A A# B クリア
Cm C#m Dm D#m Em Fm F#m Gm G#m Am A#m Bm

G Em G A

クリア ボタンをクリック!

1から曲を作成・保存する

3 設定したコードを確定します

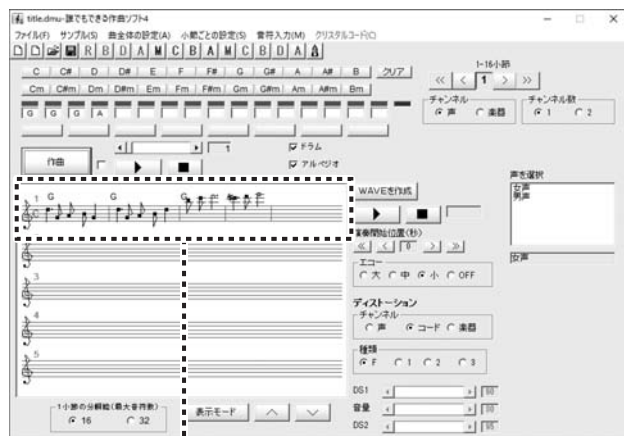
コードの設定が終了しましたら、

作曲 ボタンをクリックして、コードの設定を確定します。

コードの設定を確定すると、楽譜表示エリアには、設定したコードと自動作曲したサンプルのメロディーが表示されます。

※コードは偶数個で設定してください。
奇数個で設定すると、**作曲** ボタンをクリックした後に、最後に設定したコードが自動で削除されます。

※コードを設定した小節の数が、曲の長さになります。



設定したコードが表記されました。
(音符は自動作曲されたものです。
次のステップで音符を書き換えます)

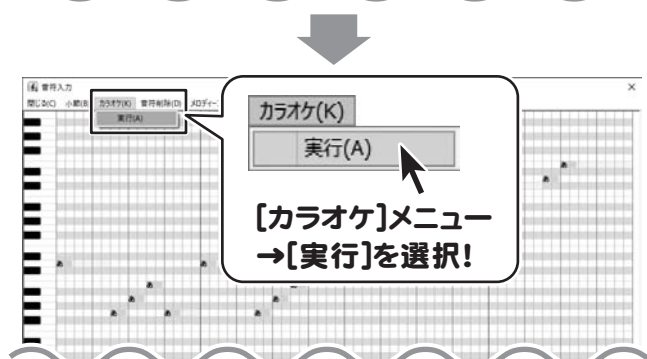
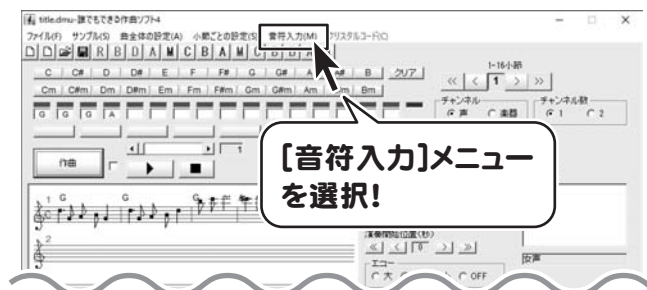
1から曲を作成・保存する

4 音符入力の前に、自動作曲されたメロディーを削除します

[音符入力]メニューをクリックして、
音符入力画面を表示します。

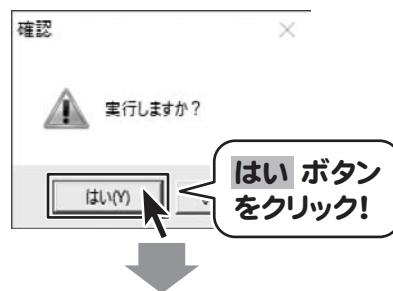
音符入力画面が表示されましたら、**3** で
自動作曲されたサンプルメロディーの音符を
すべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]を選択します。

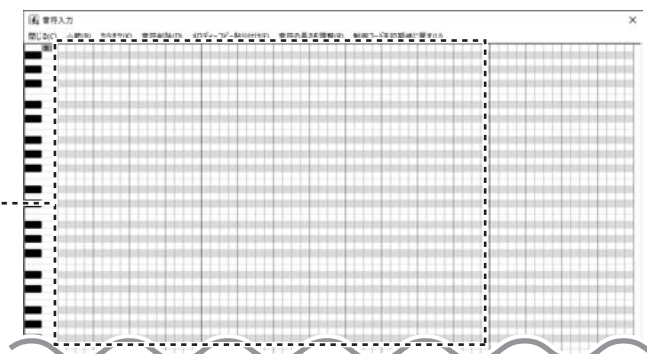


確認画面が表示されますので、内容を確認して
はい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



入力されていた音符が
すべて削除されました



1から曲を作成・保存する

5 音符を入力する前に確認します

音符入力画面では、画面に4小節ずつ(※MEMO)表示します。

音符を入力する前に、以下の2点を確認します。

- 1～2小節の音符が編集できるように、1～2小節が選択されているか
- 1～2小節の欄の下に青いバーが表示されていれば、選択されています。
- 入力モードが[編集]になっているか

memo



1小節の分解能(最大音符数)

1小節の分解能(最大音符数)

16

32

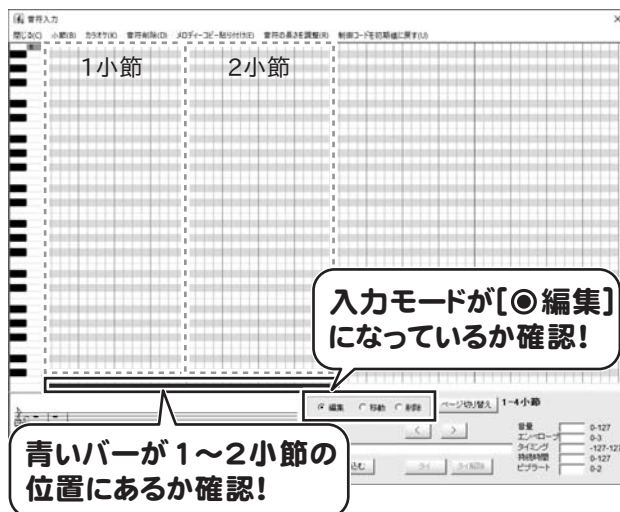
「1小節の分解能(最大音符数)」はメイン画面で設定します。

1小節に2つのコードを付ける曲の場合は、「32」を選択します。(右上のサンプル画面は「16」)

「1小節の分解能(最大音符数)」を「16」に設定している場合は、音符入力画面では4小節ずつ表示します。「32」に設定していると2小節ずつ表示します。

青いバーの位置を移動するには

ページ切り替え ボタンをクリックすると、青いバーが移動して、編集するページを選択できます。



1から曲を作成・保存する

6 音符を入力します

サンプル曲「茶摘み」の1～2小節の音符を右図のように入力します。

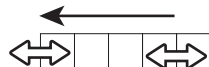
マウスをクリックしたまま
左から右にドラッグして、音符を入力します。



音符の長さの末尾にマウスポインターを合わせて
ドラッグすると、音符の長さを変更できます。
右にドラッグして音符を伸ばします。
左にドラッグして音を短くします。



一番左までドラッグすると音符を削除できます。

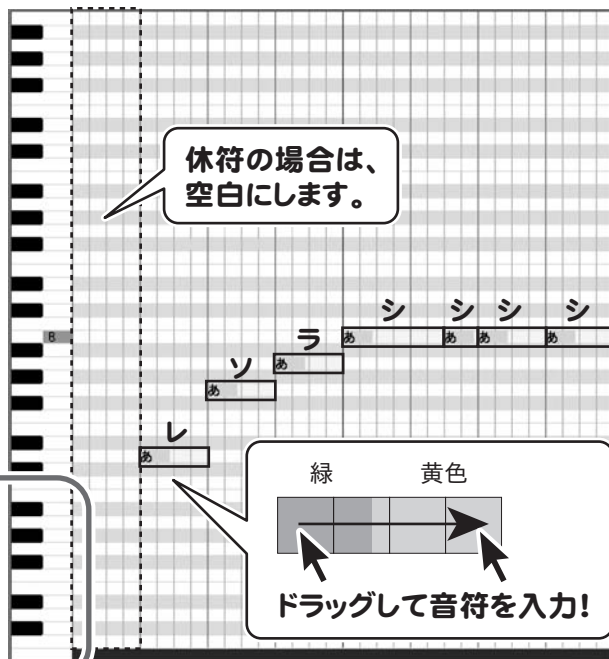


音符の長さの設定は、17ページのMEMO
「音符と休符」を参考にしてください。

サンプル曲「茶摘み」



休符の場合は、
空白にします。



真ん中の赤いラインまで、上記のように
音符を入力します。

拡大

B	シ
A#	ラ# (シ♭)
A	ラ
G#	ソ# (ラ♭)
G	ソ
F#	ファ# (ソ♭)
F	ファ
E	ミ
D#	レ# (ミ♭)
D	レ
C#	ド# (レ♭)
C	ド

コード 音階

※五線譜には♭(フラット)は表記されず、
#(シャープ)の音符で表記されます。

1から曲を作成・保存する



音符と休符

音符入力画面に下記のように入力すると、五線譜に下記の音符、休符が入力されます。

最大音符数「16」の場合

	♪ 16分音符
	♪ 8分音符
	♪ 付点8分音符
	♪ 4分音符
	♪ 付点4分音符
	♪ 2分音符
	♪ 付点2分音符
	♪ 全音符

空白にすると、休符になります。

	♪ 16分休符
	♪ 8分休符
	♪ 付点8分休符
	♪ 4分休符
	♪ 付点4分休符
	♪ 2分休符
	♪ 付点2分休符
	♪ 全休符

最大音符数「32」の場合

	♪ 32分音符
	♪ 16分音符
	♪ 8分音符
	♪ 付点8分音符
	♪ 4分音符
	♪ 付点4分音符
	♪ 2分音符

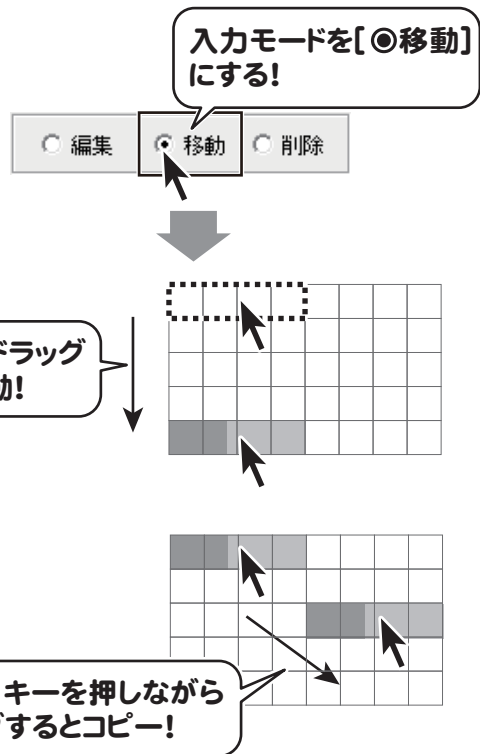
空白にすると、休符になります。

	♪ 32分休符
	♪ 16分休符
	♪ 8分休符
	♪ 付点8分休符
	♪ 4分休符
	♪ 付点4分休符
	♪ 2分休符

1から曲を作成・保存する

音符を移動する時

入力した音符の位置を移動する場合は、入力モードを[移動]にして、音符をドラッグすると移動します。

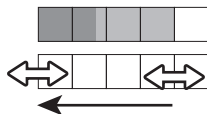


「Ctrl」キーを押しながら音符をドラッグすると複製して配置できます。

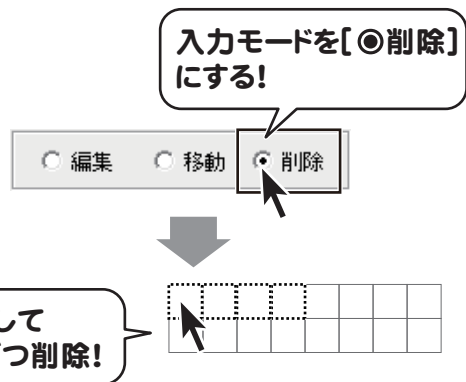
音符を削除する時

入力モードを[削除]にして、音符のマスをクリックすると1マスずつ音符が削除されます。

入力モードが[編集]の時は、以下のような操作で削除することができます。



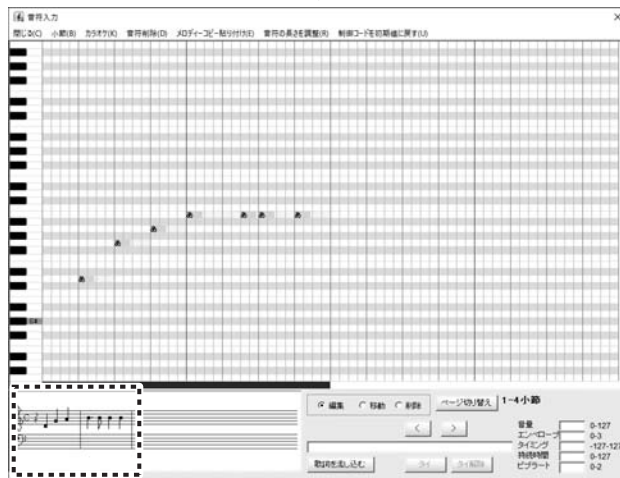
一番左までドラッグすると音符を削除できます。



1から曲を作成・保存する

7 入力した音符を五線譜に反映します

音符表示・入力エリア内で、音符が入力されていない部分をダブルクリックすると、入力した音符を、下の五線譜に反映させて確認することができます。
また、ダブルクリックすると編集した内容が更新されます。



入力した音符が五線譜に反映されました

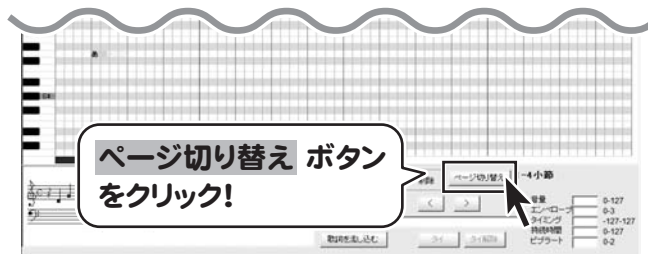
1から曲を作成・保存する

8 ページを切り替えて音符を入力します

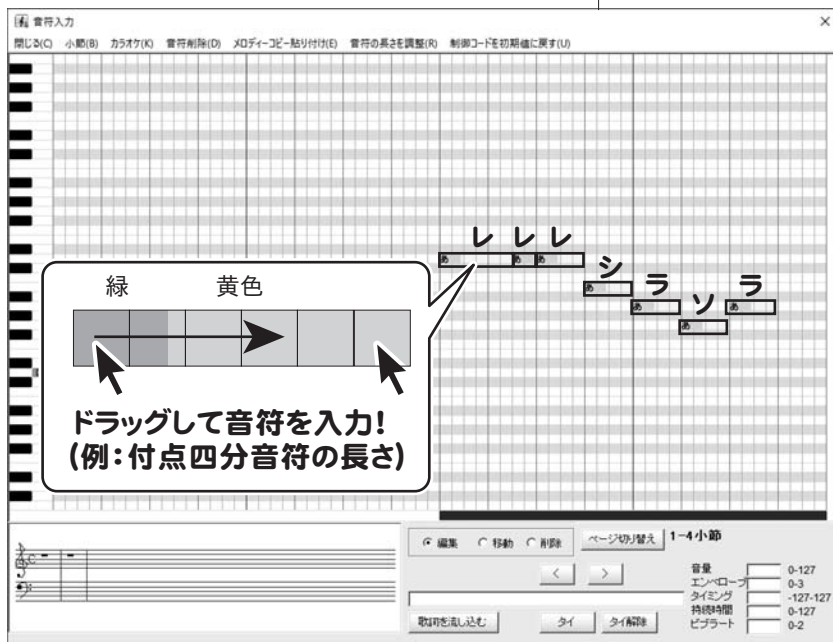
1～2小節の音符の入力が終わりましたら、
3～4小節の音符の入力をします。

ページ切り替え ボタンをクリックして
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に
切り替えます。

切り替わりましたら、
16～19ページと同様に、3～4小節の音符を
順番に入力していきます。



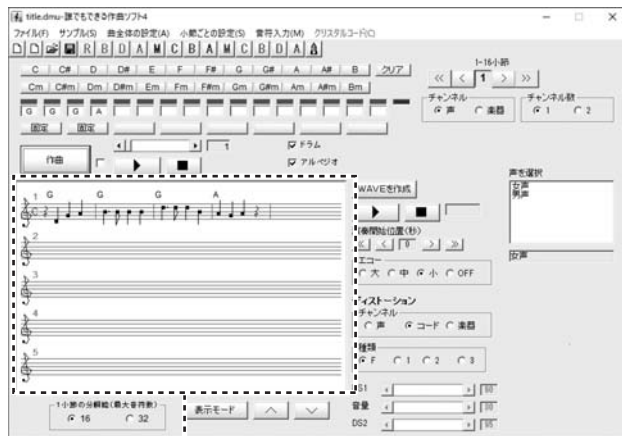
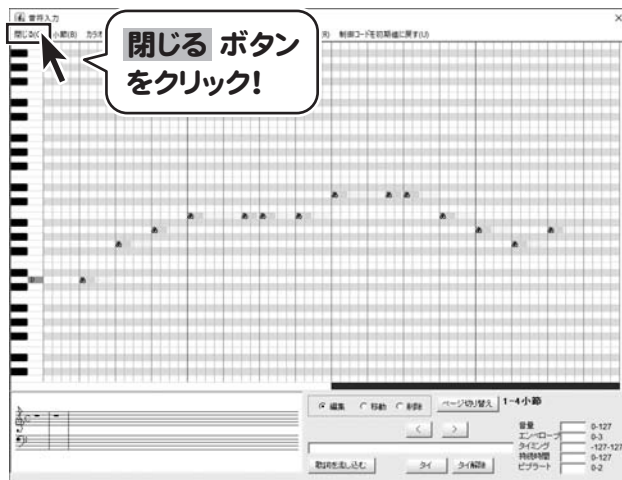
サンプル曲「茶摘み」(3～4小節)



1から曲を作成・保存する

9 音符入力画面を閉じます

すべての音符入力が終わりましたら、[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に反映されます。



音符が楽譜に反映されました

1から曲を作成・保存する

10 テンポを設定します

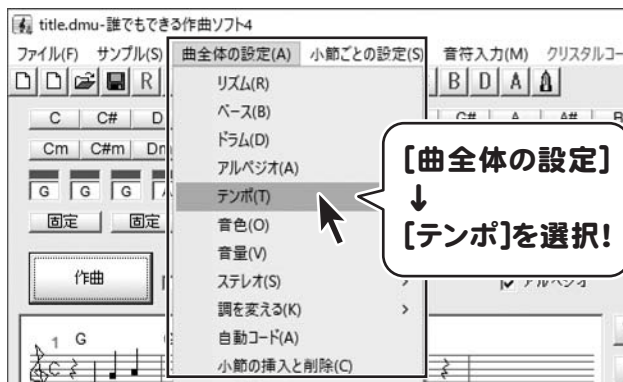
[曲全体の設定]メニュー → [テンポ]をクリックします。

テンポ画面が表示されます。

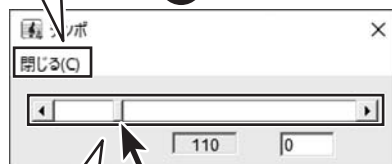
初期設定では、[120]に設定されています。
調節バーのつまみを移動して
50(遅い)～350(早い)の範囲で曲のテンポを設定することができます。
ここでは、楽譜と同じ[110]に設定します。

テンポを設定したら、[閉じる]をクリックして
メイン画面に戻ります。

作曲 ボタンをクリックして、コード、音符、テンポの設定を一旦確定します。
確定することで、MIDIファイルの曲が作られ、
試聴することができます。(次ページへ)



[閉じる]をクリック!




調節バーのつまみを
移動して設定!



1から曲を作成・保存する

11 曲を試聴します

ここまで作成した内容を試聴してみます。

 ボタンをクリックすると、
入力した音符とコードが、設定したテンポ(速さ)
で再生されます。

※MIDIファイルは、
コンパクトなファイルで、楽器音専用です。



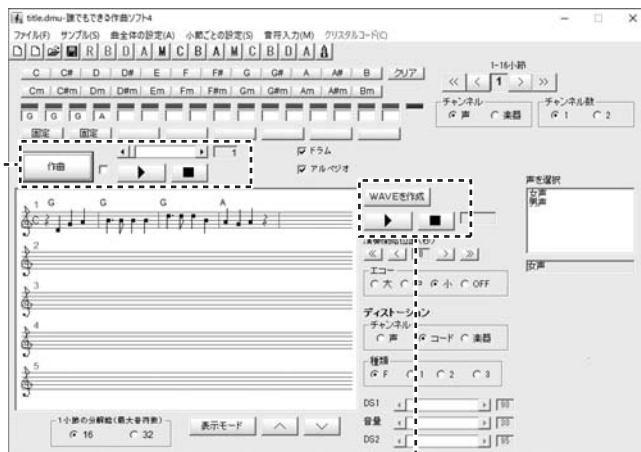
memo



MIDIファイルとWAVEファイル

本ソフトは、「MIDIファイル」と「WAVEファイル」を作ります。
「MIDIファイル」は、コンパクトなファイルで、楽器音専用です。
「WAVEファイル」は、声と楽器音を同時に出すことができ、大きなファイルになります。

MIDIファイルを作成・再生します



WAVEファイルを作成・再生します

歌声を含む「WAVEファイル」は、「MIDIファイル」を元に作られますので、歌声を再生するためには、
最初に「MIDIファイル」を作る必要があります。
「MIDIファイル」は自動的に作られる場合と、**作曲** ボタンをクリックすると作られる場合があります。
メロディーと歌詞を変更した場合は「MIDIファイル」は自動的に作られ、
「音量」「音色」「テンポ」などを変えた場合は **作曲** ボタンをクリックすると「MIDIファイル」が作られます。

1から曲を作成・保存する

12 曲に歌詞を設定します

音符入力画面を表示して、曲に歌詞を設定します。

[音符入力]メニューをクリックして、
音符入力画面を表示します。

歌詞の入力は、1～2小節、3～4小節の順番
で入力していきます。
まずは、1～2小節の音符に歌詞を入力します。

歌詞を入力する前に、以下の点を確認します。

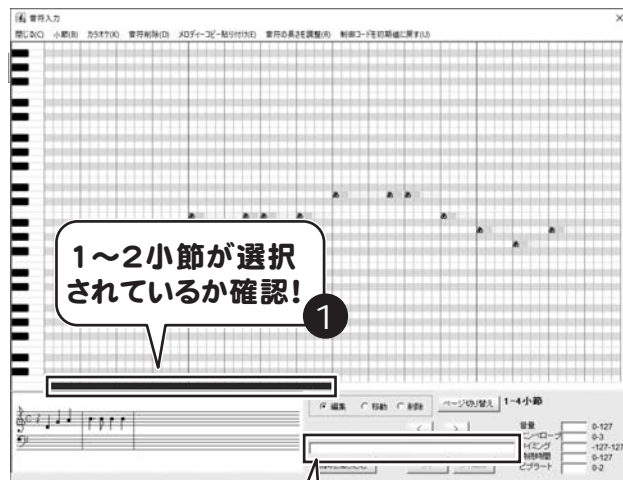
- 1～2小節の音符が編集できるように、
1～2小節が選択されているか
1～2小節の欄の下に青いバーが表示されて
いれば、選択されています。

次に、歌詞の入力欄に歌詞を入力します。
ここでは、“なつもちかずく”と入力します。

※「づ」など、音符に入力できない文字があります。
入力可能な文字については、27ページをご覧ください。

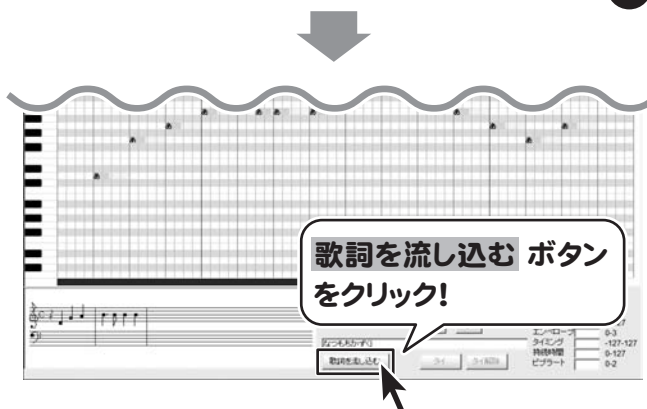
※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで
入力してください。

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。



歌詞の入力欄に“なつもちかずく”と入力します。

なつもちかずく



1から曲を作成・保存する

音符表示入力エリアの音符上の文字が、
入力した歌詞に変更されます。

memo



音符の文字を変更する

音符に入力した文字を変更するには、2つ方法があります。

①入力欄に文字を入力しなして、**歌詞を流し込む**
ボタンをクリックする。

②音符をダブルクリックして、直接入力します。

あ



ダブルクリック!

緑色から水色に変わります。直接入力できます。

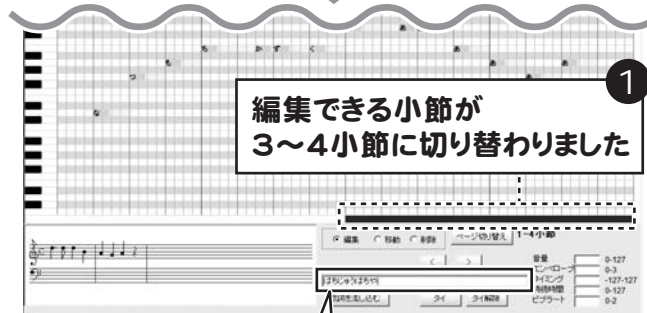
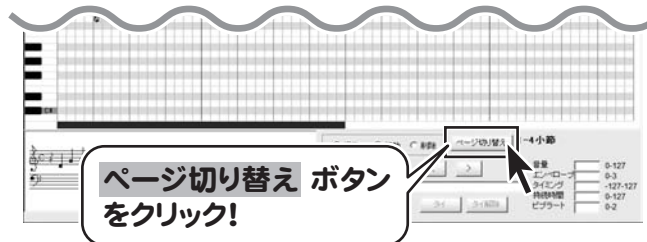
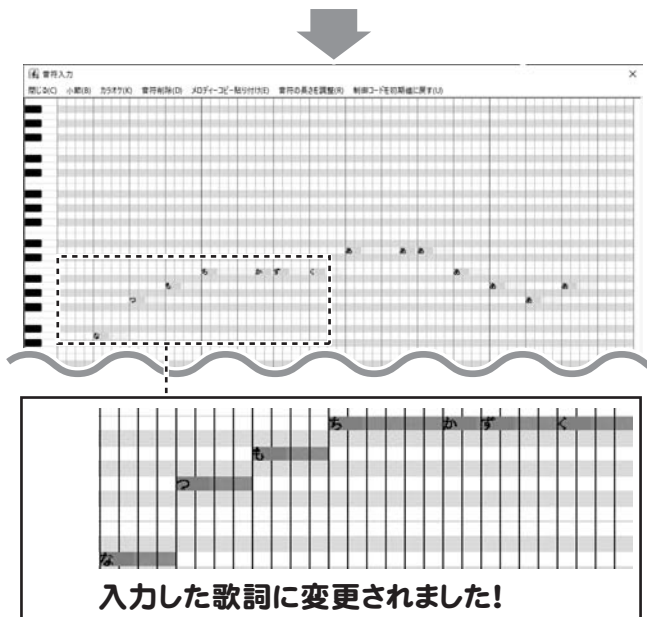
←音符の上で直接入力!

1～2小節の音符の入力が終わりましたら、
3～4小節も同様に歌詞を入力します。

ページ切り替え ボタンをクリックして
編集できる小節を1～2小節から3～4小節に
切り替えます。

ページが切り替わりましたら、
歌詞の入力欄に歌詞を入力します。
ここでは、”はちじゅうはちや”と入力します。

※歌詞は空白を入れずに、すべてひらがなで
入力してください。

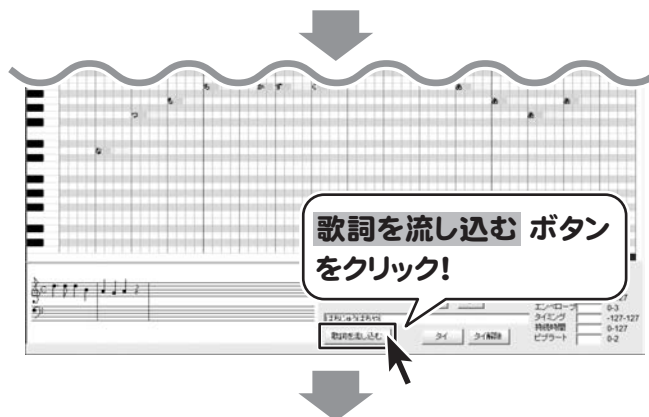


歌詞の入力欄に”はちじゅうはちや”と入力します。

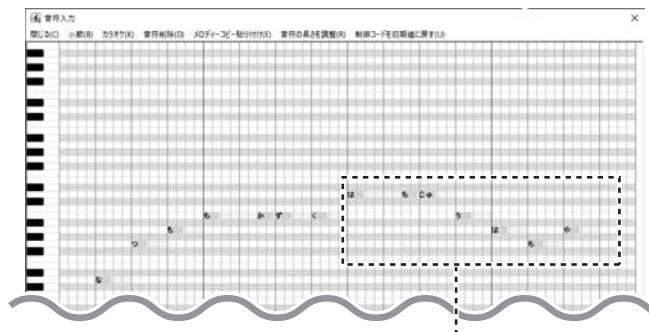
はちじゅうはちや

1から曲を作成・保存する

歌詞の入力が終わりましたら、
歌詞を流し込む ボタンをクリックします。

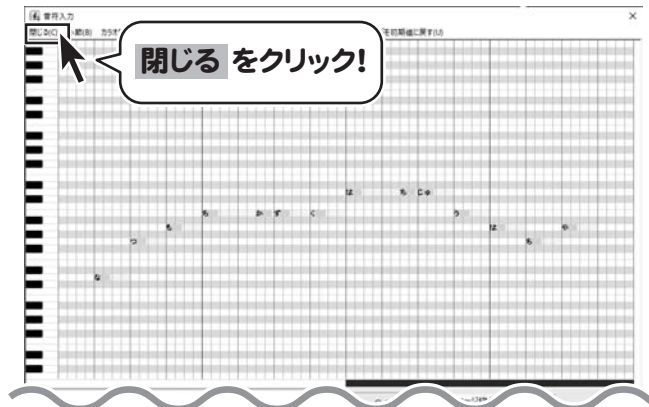


音符表示入力エリアの音符上の文字が、
入力した歌詞に変更されます。

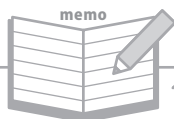


入力した歌詞に変更されました!

歌詞の入力作業が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、メイン画面に戻ります。



1から曲を作成・保存する



歌詞に入力可能な文字一覧

歌詞として使用できるのは下記の文字です。(カタカナ、漢字、アルファベットは使えません)

下記の文字に「っ」をつけると、短く発音します。

「あ」と入力すると、長い音符では「あー」と再生されます。

「あっ」と入力すると「あっ」と再生されます。

あ	い	う	え	お	が	ぎ	ぐ	げ	ご
か	き	く	け	こ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
さ	し	す	せ	そ	だ	でい	どう	で	ど
た	ち	つ	て	と	ば	び	ぶ	べ	ぼ
な	に	ぬ	ね	の	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
は	ひ	ふ	へ	ほ	きゃ		きゅ	きえ	きよ
ま	み	む	め	も	しゃ		しゅ	しえ	しよ
や		ゆ	いえ	よ	ちゃ		ちゅ	ちえ	ちよ
ら	り	る	れ	ろ	にゃ		にゅ	にえ	によ
わ	うい		うえ	うお	ひゃ		ひゅ	ひえ	ひよ
ん					みゃ		みゅ	みえ	みよ
					りゃ		りゅ	りえ	りよ
					ぎゃ		ぎゅ	ぎえ	ぎよ
					じゃ		じゅ	じえ	じよ
					びゃ		びゅ	びえ	びよ
					ぴゃ		ぴゅ	ぴえ	ぴよ
					てい		とう		
					ふあ	ふい		ふえ	ふお

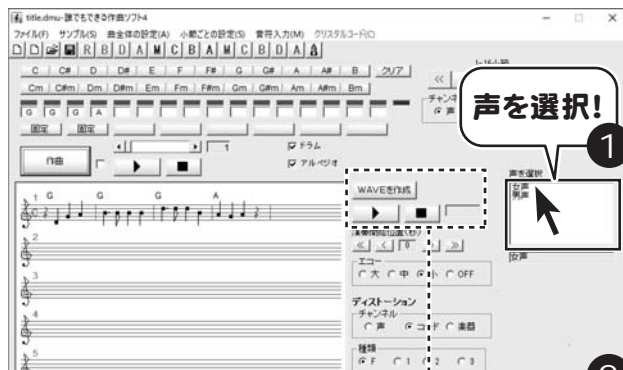
1から曲を作成・保存する

13 歌詞つきのWAVEファイルを作成します

メイン画面に戻ったら、入力した歌詞を含めたWAVEファイルを作成します。

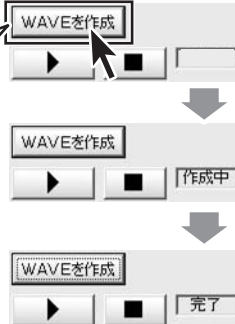
収録されている声の中から、声を選択します。

WAVEを作成 ボタンをクリックして、WAVEファイルを作成します。




WAVEを作成
ボタンをクリック!

WAVEファイルの作成には
少し時間がかかります。
表示が[作成中]→[完了]
になったら作成完了!



14 歌詞つきの曲を試聴します

作成したWAVEファイルを試聴をします。

 ボタンをクリックすると、曲と入力した歌詞が再生されます。



1から曲を作成・保存する

15 作曲した曲を保存します

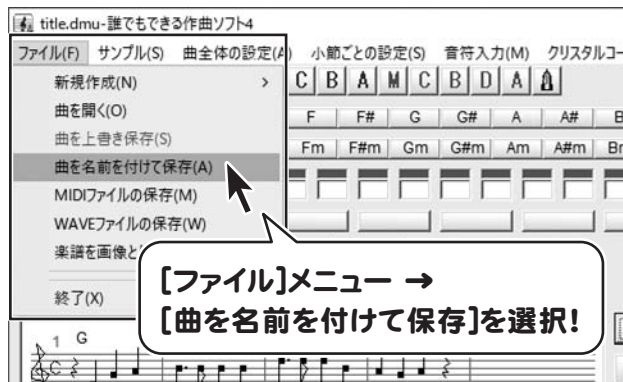
作曲した曲のデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[曲を名前を付けて保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.dmu」になります。



選択した保存場所にファイルが保存されました

1から曲を作成・保存する

作成した曲をMIDIファイルで保存する場合

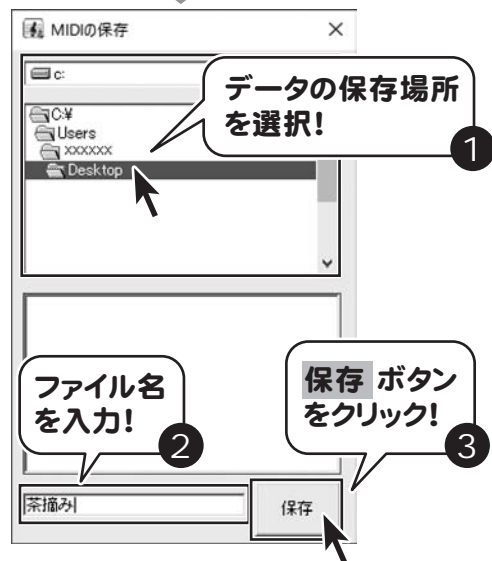
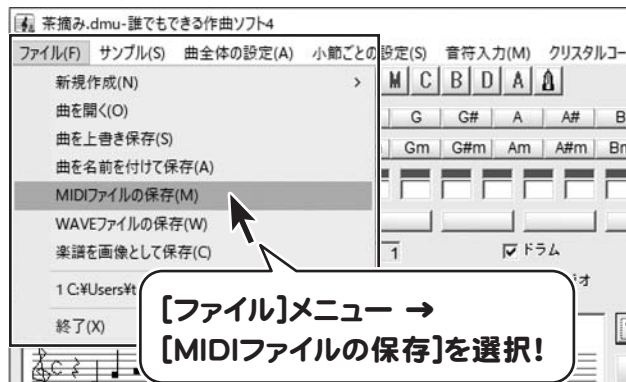
作曲した曲のMIDIデータを保存します。

[ファイル]メニュー→[MIDIファイルの保存]を選択します。

音楽ファイルの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.mid」になります。



選択した保存場所にファイルが保存されました

1から曲を作成・保存する

作成した曲をWAVEファイルで保存する場合

作曲した曲のWAVEファイルを保存します。

[ファイル]メニュー→[WAVEファイルの保存]を選択します。

※メニューが灰色の文字で選択できない場合は「WAVEファイルの作成」を行ってください。
(詳細は28ページをご覧ください)

WAVEを保存画面が表示されますので、
ファイルを保存する場所を選択して、
ファイル名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

ファイルの拡張子は「.wav」になります。

※WAVEファイルは、歌声付きで再生されます。



選択した保存場所にファイルが保存されました

自動作曲機能を使って曲を作成する


自動作曲機能を使って曲を作成する

「誰でもできる作曲ソフト4」を使って、自動で4小節の曲を作る説明をします。

1 4小節の曲のメロディーを作ります

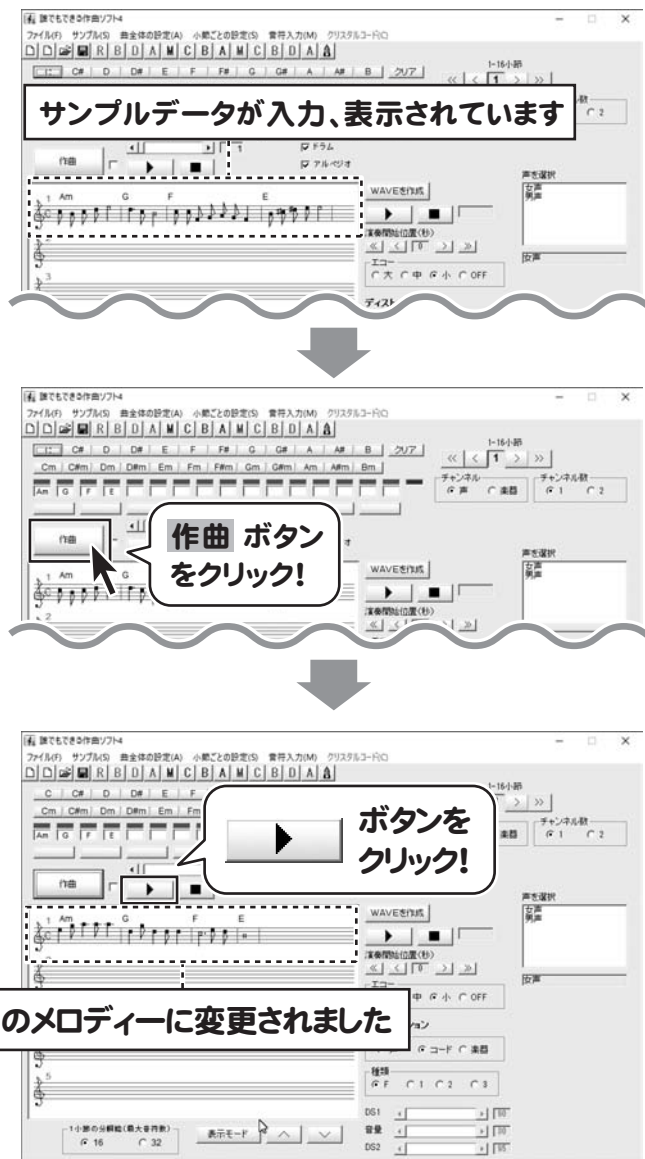
「誰でもできる作曲ソフト4」起動時、4拍子のサンプル曲が入力されています。

作曲 ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。メロディーが書き換えられしたら、

 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

作曲 ボタンをクリックする度に、メロディーが書き換えられますので、気に入るメロディーが入力、表示されるまで、同じ操作を繰り返します。

※気に入ったメロディーの部分は固定して書き換えられないようにする方法→35ページ



自動作曲機能を使って曲を作成する

コードを変更して自動作曲する

自動で入力されているコードを変更します。

※コードの入力・変更方法は、11～12ページをご覧ください。


※3拍子に変更する場合は、[ファイル]メニューから[新規作成]→[3拍子の曲を作る]を選択して、新規作成画面を表示してください。

コードの設定が終了しましたら、

作曲 ボタンをクリックします。

設定したコードで、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。

メロディーが書き換えられましたら、

 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

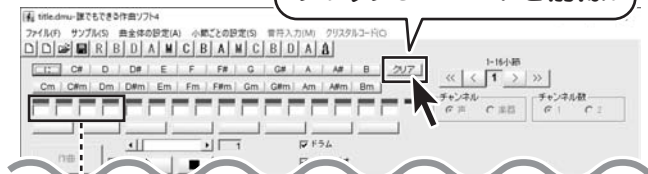
クリア ボタンでコードを削除し、入力し直した場合は、メロディーが固定されます。

 ←「固定」と表示されます。

この場合、**作曲** ボタンをクリックしても、曲は変更されなくなるので、**固定** ボタンをクリックして固定を解除します。
解除されると、**作曲** ボタンをクリックしてメロディーを書き換えることができます。

 → 
クリックして固定を解除

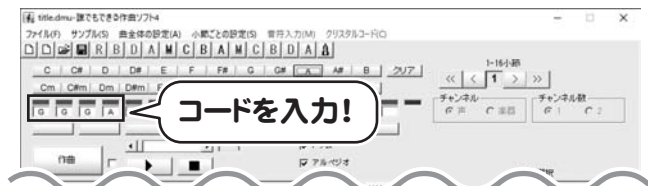
クリア ボタンをクリックしてコードを削除!



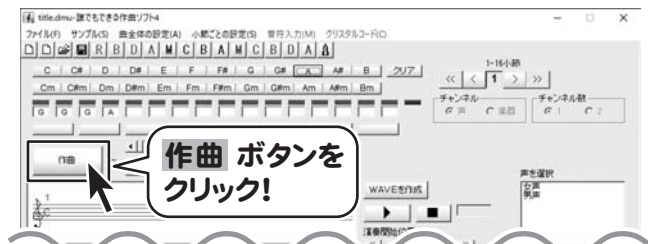
クリックするごとに右側から削除されます



コードを入力!



作曲 ボタンをクリック!



ボタンをクリック!



設定したコードでメロディーが変更されました

自動作曲機能を使って曲を作成する

サンプルコード進行を使用して自動作曲する

自動で入力されているコードを、サンプルコード進行に置き換えて自動作曲します。


※拍子を変更する場合は、[ファイル]メニューの[新規作成]で拍子を選択して、新規作成画面を表示してから進めてください。

[サンプル]メニューをクリックして、「サンプル曲とサンプルコード進行」画面を表示します。

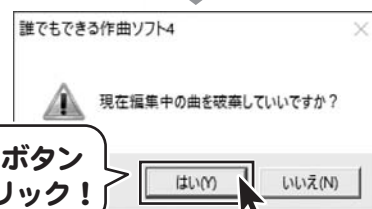
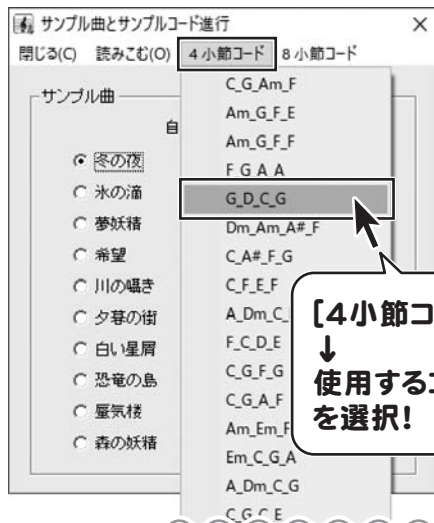
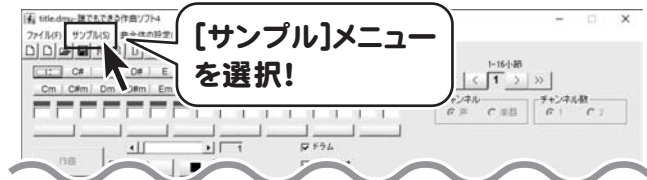
画面上部の[4小節コード]をクリックして、表示されるメニューからコードを選択します。ここでは[G_D_C_G]を選択します。

確認画面が表示された場合は、内容を確認して、はい ボタンをクリックします。メイン画面に戻り、コード入力位置表示ボックスに選択したコードが表示されます。

32ページと同様に、作曲 ボタンをクリックすると、4小節の曲のメロディーが書き換えられます。メロディーが書き換えられましたら、

 ボタンをクリックして、メロディーを確認します。

作曲 ボタンをクリックする度に、メロディーが書き換えられますので、気に入るメロディーが表示されるまで、同じ操作を繰り返します。



選択したコードが入力されました

作曲 ボタンをクリックごとにメロディーが置き換わります



自動作曲機能を使って曲を作成する

2 メロディーを固定します

メロディーが決まりましたら、コード表示エリアの **固定** ボタンをクリックして、[固定]の文字を表示させ、メロディーを変更しないように固定します。

※最初の2小節はそのまま、後の2小節だけメロディーを変更したい場合は、最初の2小節だけ[固定]に設定し、**作曲** ボタンをクリックすると、後の2小節のメロディーが変わります。

[固定]に設定すると、**作曲** ボタンをクリックしても、メロディーが変更されなくなります。



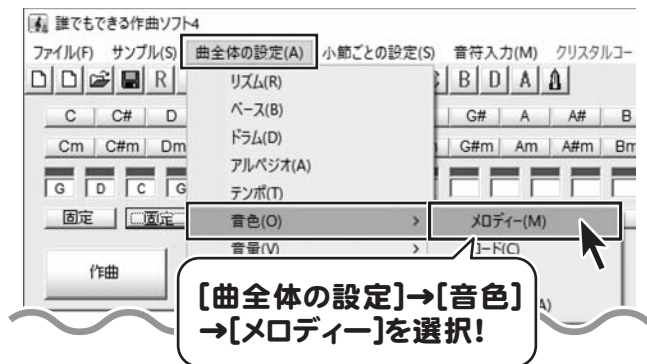
3 メロディーの音色を変更します

メロディーが決まりましたら、メロディーの音色を変更してみましょう。


[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー] をクリックします。
メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



自動作曲機能を使って曲を作成する

メイン画面に戻ったら、
作曲 ボタンをクリックします。
選択した音色でメロディーが再生されますので
 ボタンをクリックして音色を試聴します。




4 リズムパターンを変更します

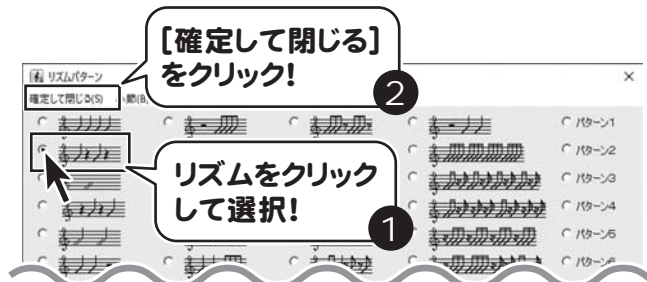
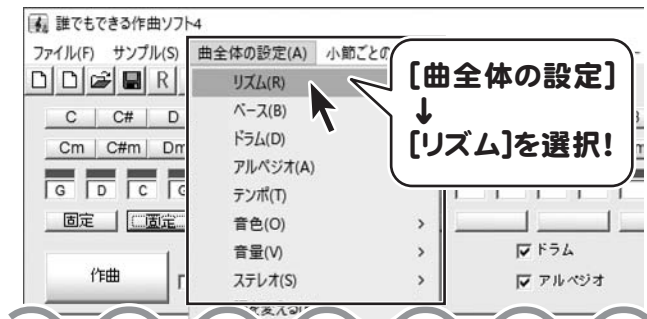
次に、曲のリズムを変更してみます。

[曲全体の設定]メニュー → [リズム]をクリック
します。
リズムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から2番目のリズム]
を選択します。

変更するリズムの○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、
作曲 ボタンをクリックします。
曲が選択したリズムで再生されますので、
 ボタンをクリックしてリズムを試聴
します。



自動作曲機能を使って曲を作成する

5 ベースパターンを変更します

次に、曲のベースパターンを変更してみます。


[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

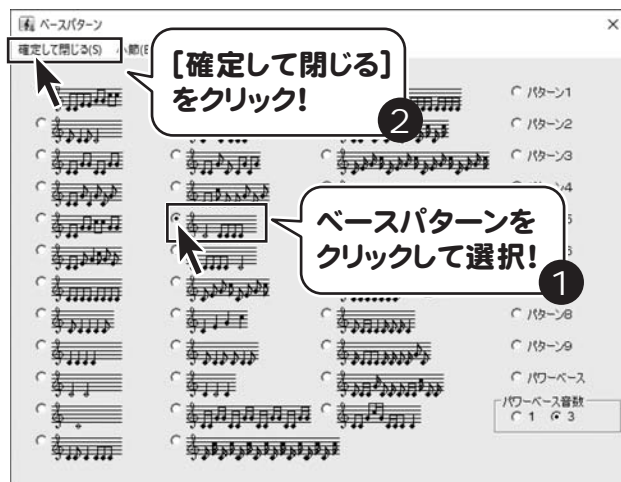
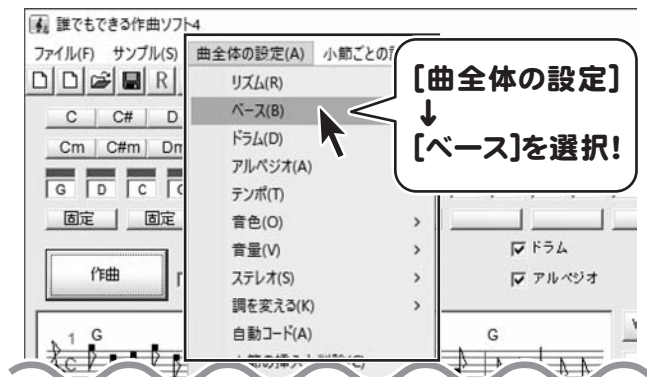
ベースパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から5番目のベースパターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。
曲が選択したベースパターンで再生されます。



自動作曲機能を使って曲を作成する

6 ドラムパターンを変更します


次に、曲のドラムパターンを変更してみます。

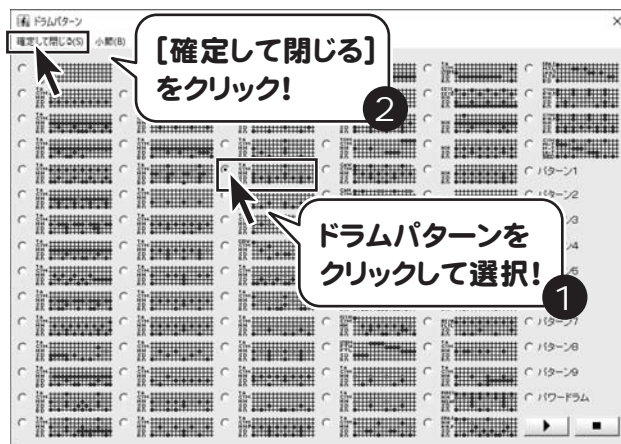
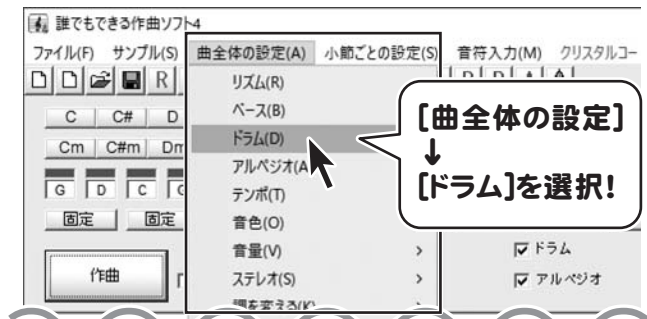
[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から3列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、作曲 ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。
曲が選択したドラムパターンで再生されます。



自動作曲機能を使って曲を作成する

7 音量を変更します

次に、曲の音量を変更してみます。

音量は、「メロディー」「ベース」「コード」「ドラム」「アルペジオ」の5つの項目別に設定することができます。

どの項目の音量調節も同様の手順になります。ここでは、「メロディー」の音量を変更する説明をします。

[曲全体の設定]メニュー → [音量] → [メロディー]をクリックします。


メロディーの音量画面が表示されます。

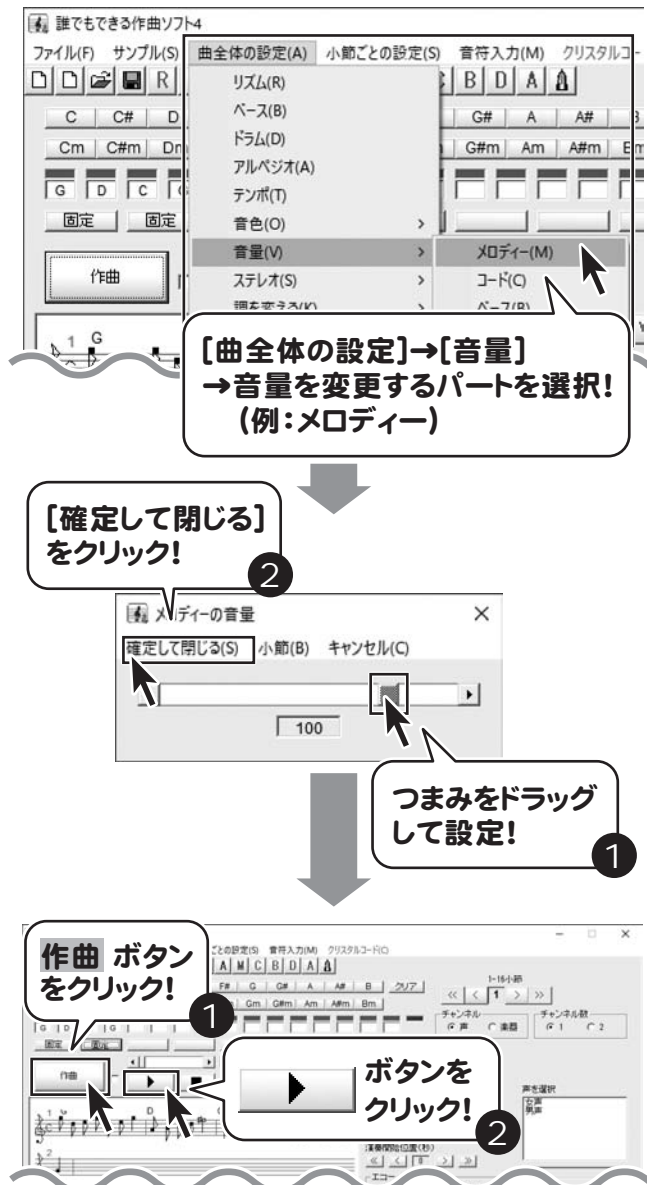
初期設定では、最大音量の[127]に設定されています。

調節バーのつまみを移動して、0(小さい)～127(大きい)の値でメロディーの音量を変更することができます。ここでは、[100]に設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、メロディーの音量画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、**作曲** ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして試聴します。設定した音量で曲が再生されます。



自動作曲機能を使って曲を作成する

8 小節をコピーして貼り付けます

ここまでで作成した4小節の曲をコピーして8小節の曲に編集する方法を説明します。

小節の挿入とコピーを行います。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]をクリックします。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

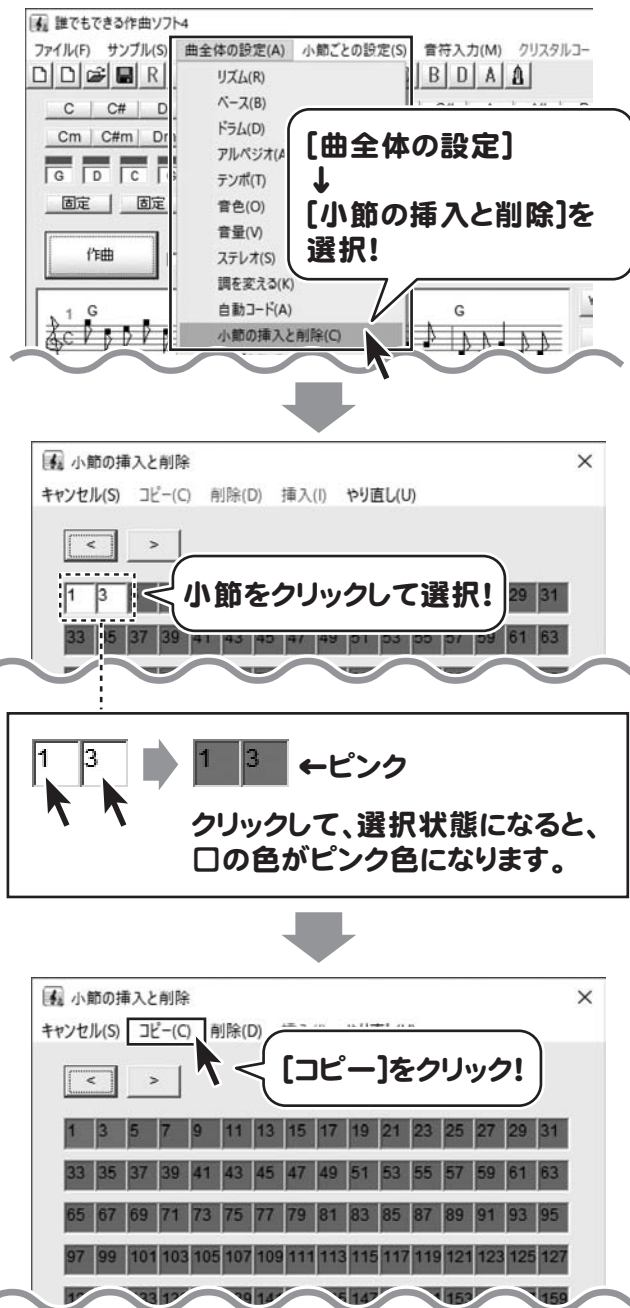
小節の1～255までの数字が書かれています。
曲が入力されている小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。
◀ ▶ ボタンをクリックすると、小節ページを切り替えます。

ここまでで作成してきた曲は4小節の曲なので、
1 (1, 2小節) と 3 (3, 4小節) の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、4小節分コピーをするので、
「1」(1, 2小節) と 「3」(3, 4小節) をクリックして
選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。
※「1」(1, 2小節) だけをコピーするときは、「1」を
2回クリックします。

□が選択状態になると、画面上部の[コピー]が
クリックできるようになりますので、
[コピー]をクリックします。

※「1小節の分解能」が「16」に設定してある場合は、
2小節ごとに選択してコピーできます。
「1小節の分解能」が「32」に設定してある場合は、
1小節ごとに選択してコピーできます。



自動作曲機能を使って曲を作成する


小節のコピーが完了しますと、挿入が可能な小節「5」が白色で表示されます。

「5」をクリックして、選択状態になると、「黄色」に表示されます。

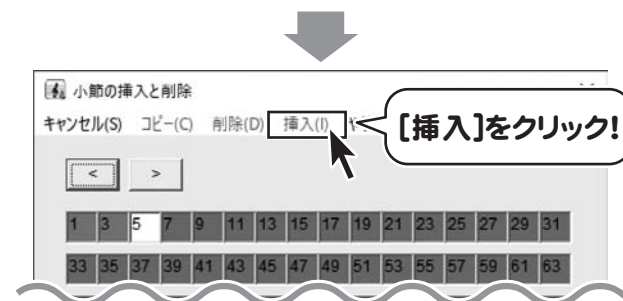
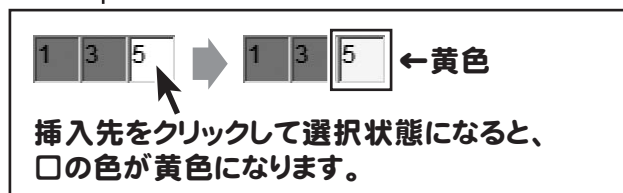
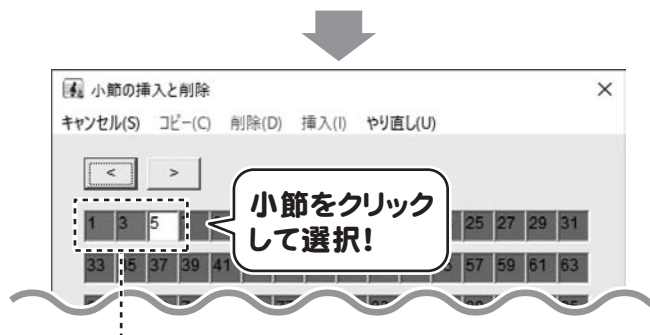
□が選択状態になると、画面上部の[挿入]がクリックできるようになりますので、[挿入]をクリックします。

小節の挿入と削除画面が閉じて、メイン画面に戻ります。

メイン画面に戻ったら、楽譜表示エリアに4小節分の楽譜がコピーされて8小節の曲に編集されているのを確認し、

 ボタンをクリックして、コピー、挿入した曲を確認します。

作業が終わりましたら、データの保存を行ってください。(29ページ参照)



8小節の曲になりました

保存した曲を開く

作成、保存した曲のデータを開く

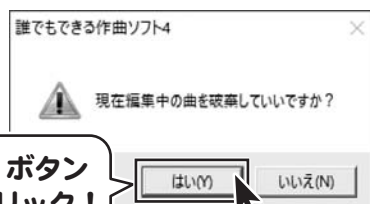
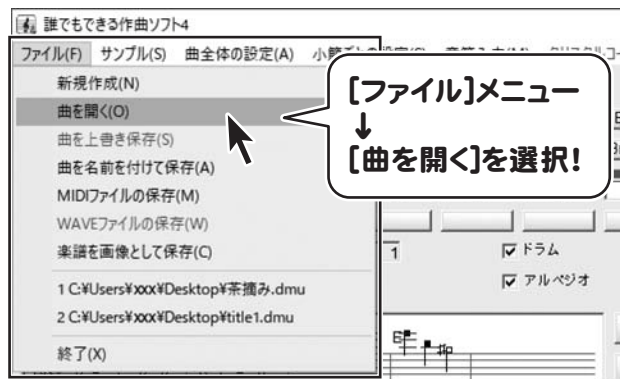
本ソフトで作成した曲のファイル(拡張子 .dmu)を開きます。

[MIDIファイルの保存][WAVEファイルの保存]で保存したファイルは開いて編集することはできません。

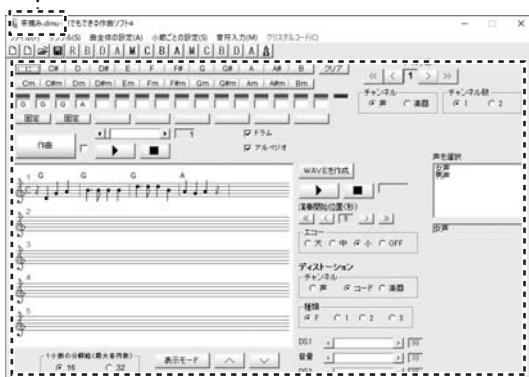
[ファイル]メニュー → [曲を開く]を選択します。

確認画面が表示されますので、内容を確認して、**はい** ボタンをクリックします。

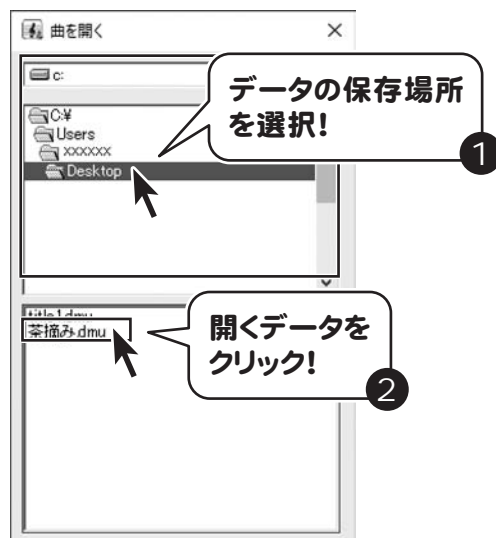
「曲を開く」画面が表示されますので、データが保存されている場所を選択して、開くデータをクリックしますと、メイン画面に曲のデータが表示されます。



ファイル名表示



データが開きました



その他の機能・操作説明

小節の削除

小節の挿入と削除機能を使用すると、曲に前奏をつける作業や、曲を繰り返す作業がかんたんにできます。
小節の挿入、コピーの操作方法は、40～41ページをご覧ください。

小節の削除を行います。

ここでは8小節の曲を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [小節の挿入と削除]
をクリックします。

小節の挿入と削除画面が表示されます。

曲が入力されている小節は「白色」、
使用されていない小節は「灰色」で表示されます。

1 (1, 2小節)、3 (3, 4小節)、5 (5, 6小節)、
7 (7, 8小節)の小節が「白色」で表示されて
います。

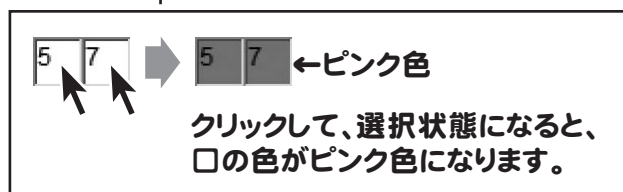
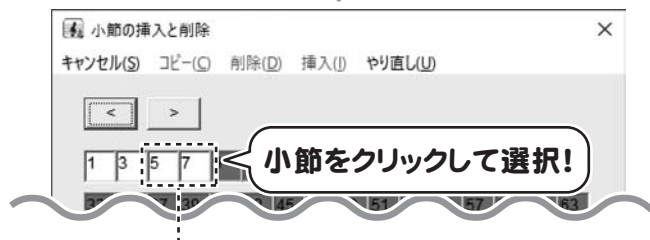
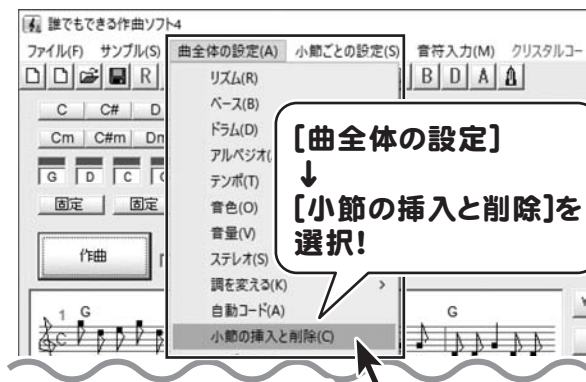
ここでは、5 (5, 6小節)、7 (7, 8小節)の2小節分
を削除するので、
削除するはじめの小節の5 (5, 6小節)、
削除する終わりの小節の7 (7, 8小節)を
クリックして選択します。
選択されると□の色が「ピンク色」に変わります。

※1つの小節を削除する場合は、削除する小節の
はじまりと終わりを設定するので、削除する
小節を2回クリックしてください。

※削除する小節の選択に失敗した場合は、
[やり直し]をクリックして、再度削除の操作を
行ってください。

□が選択状態になると、画面上部の[削除]が
クリックできるようになりますので、[削除]を
クリックします。

小節の削除が実行され、小節の挿入と削除画面
が閉じて、メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

メロディーのコピーと貼り付け

音符入力画面から、1小節ごとにメロディーをコピー、貼り付けすることができます。

メロディーのコピー、貼り付けを行います。
ここでは10～29ページで作成した
「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、音符入力画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

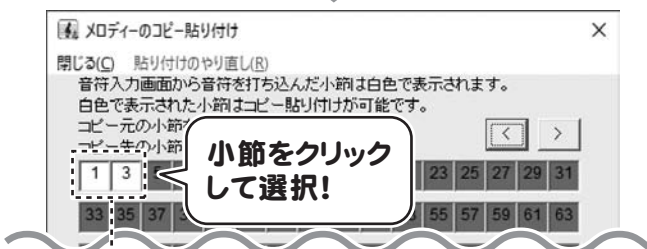
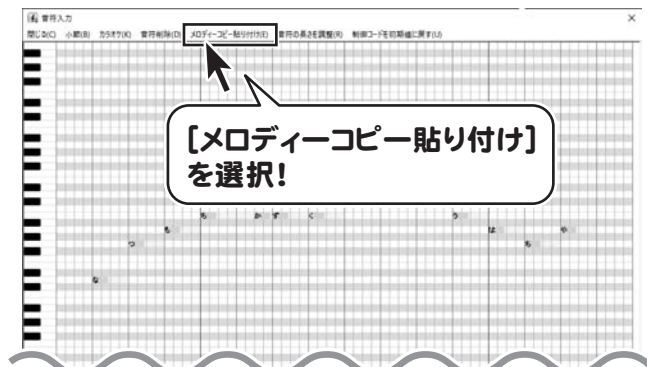
音符入力画面が表示されましたら、
[メロディーコピー貼り付け]メニューを
クリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を表示します。

曲が入力されている小節は「白色」、使用されて
いない小節は「灰色」で表示されます。

1(1、2小節)、3(3、4小節)の小節が
「白色」で表示されています。

ここでは、1(1、2小節)をコピーして、
3(3、4小節)に貼り付けします。
1(1、2小節)をクリックして選択します。
選択されると口の色が「ピンク色」に変わります。

※灰色で表示されている小節を白色に変更する
には、事前にコードを入力して曲を長さ
を設定しておく必要があります。



1 → 1 ←ピンク色

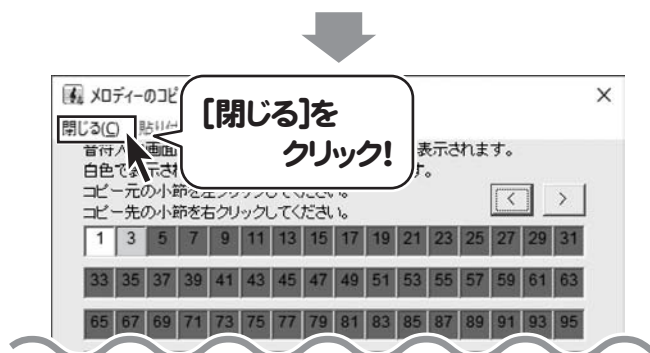
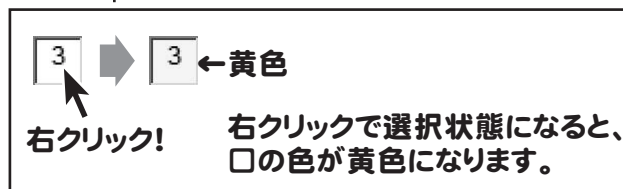
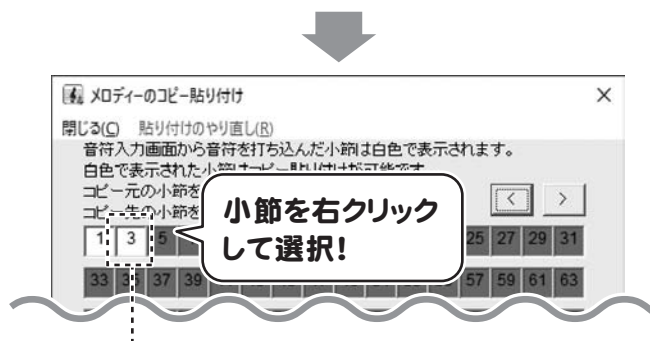
クリック!

クリックして、選択状態になると、
口の色がピンク色になります。

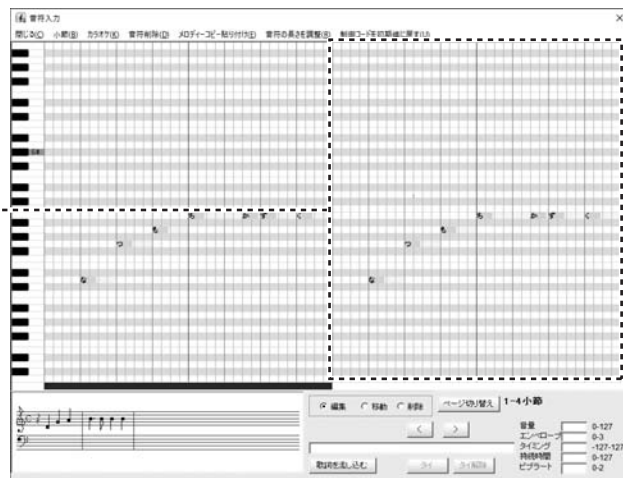
その他の機能・操作説明

次にコピーした小節を貼り付ける小節
3(3,4小節)を右クリックしますと、
□の色が「黄色」になり、
コピーした1(1,2小節)のメロディーが
3(3,4小節)に貼り付けられます。

コピー、貼り付けが終了しましたら、
[閉じる]をクリックして、
メロディーのコピー貼り付け画面を閉じます。



1(1,2小節)が3(3,4小節)に
コピー、貼り付けされました



その他の機能・操作説明

自動コードを設定する

メロディーに合ったコード(和音)を自動でつけることができます。

作成したメロディーに自動でコードを設定します。
ここでは10～29ページで作成した
「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [自動コード]
をクリックします。
自動コード画面が表示されます。

曲が入力されている小節は「白色」、使用されて
いない小節は「灰色」で表示されます。
1～4の小節が「白色」で表示されています。

○をクリックして曲の調を選択して、
[確定して閉じる]をクリックします。

自動でコードが設定され、自動コード画面が
閉じて、メイン画面に戻ります。

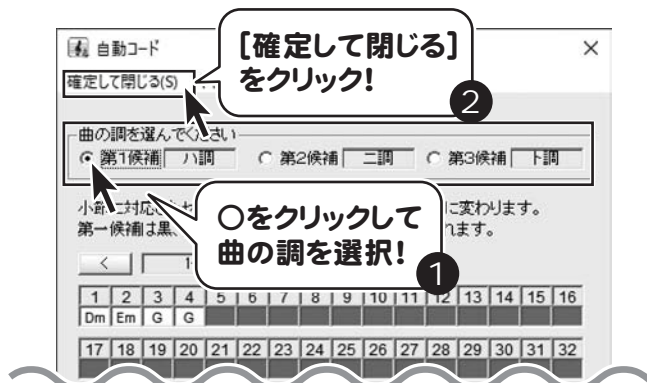
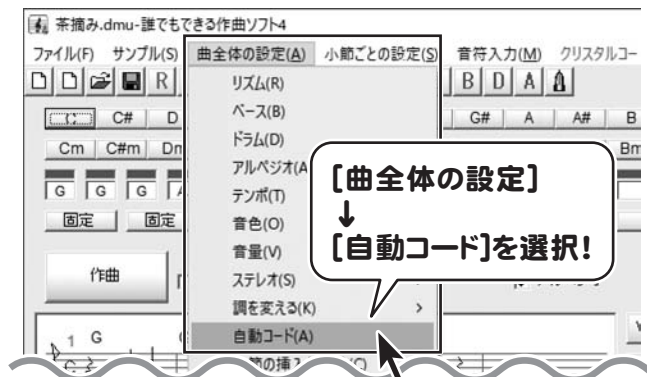


選択した調の第2第3候補 のコードを設定する

選択した調のコードで、違和感があった場合、
コードのセルを1回クリックすると、
第2候補(青文字)、もう1回クリックすると
第3候補(赤文字)に変わります。
試聴しながら、合うコードを探してみてください。

例:

1	1	1
Dm	G	Am
↑	↑	↑
黒	青	赤
(第1候補)	(第2候補)	(第3候補)



自動コードで設定したコードになりました

その他の機能・操作説明

各小節ごとに音色を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音色を設定します。曲全体の音色を設定する方法は35ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

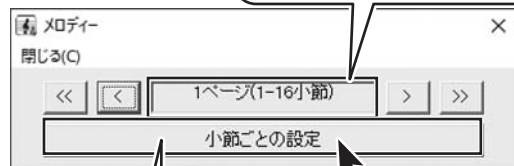
まずは、[小節ごとの設定]メニューから音色を設定するパートを選択します。
[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]の中から、例として[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音色を設定する小節のページを指定します。
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



音色を設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、音色を設定する小節をクリックします。
ここでは、1小節目の音色を設定しますので、[1]をクリックして、選択します。

※複数の小節を選択して設定することができます。
48ページのMEMOをご覧ください。



その他の機能・操作説明

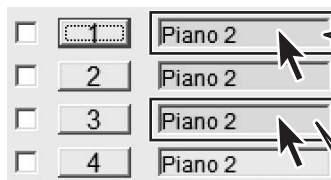
memo



複数の小節を選択して音色を変更する場合

音色を変更する最初の小節の音色名をクリックし、次に最後の小節の音色名をクリックします。
クリックした範囲の音色名の枠内が水色で表示されます。

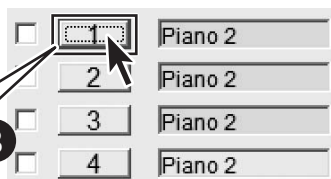
水色で表示されている範囲内の[小節]ボタンをクリックします。



1
音色を変更する
はじめの音色を選択!
(水色になります)

2
音色を変更する
終わりの音色を選択!

3
音色を変更する範囲内の
[小節]ボタンをクリック!



クリックした範囲の
音色の枠内が
水色になります。

小節番号のボタンをクリックすると、
メロディーの音色画面が表示されます。

初期設定では、[Piano 2]が選択されています。
ここでは、[Harmonica]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、
メロディー1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

2
[確定して閉じる]をクリック!



1
音色をクリック
して選択!

選択した小節の音色を変更できました



その他の機能・操作説明

[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定して音色を設定することができます。

[小節ごとの設定]メニューから[音色]を選択します。
[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]から
音色を設定するパートを選択します。
例として、[メロディー]を選択します。

「メロディーの音色」画面が表示されましたら、
[小節]メニューをクリックします。

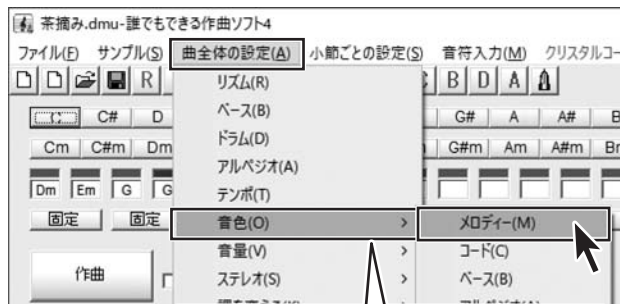
「小節(範囲指定)」画面が表示されますので、
音色を設定する小節範囲を指定します。

< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ
<<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わり
ます。

ここでは、1～2小節目の音色を設定しますので、
上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]を
クリックします。

「メロディーの音色」画面で、変更する音色の○を
クリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして
画面を閉じます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から、小節ページ
を表示すると、指定した範囲の音色が変更されて
いるのが確認できます。



**[曲全体の設定]→音色
→音色設定するパートを選択!
例: [メロディー]を選択**



[小節]をクリック!



[閉じる]をクリック!

**範囲を指定!
例: 1～2小節を指定**

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを
表示すると…



**指定した小節範囲の音色が
変更されています**



**音色をクリック
して選択!**

その他の機能・操作説明

各小節ごとに音量を設定する

1小節ごと、または2小節ごとに音量を設定します。曲全体の音量を設定する方法は39ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから音量を設定するパートを選択します。
[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]
の中から、例として[メロディー]を選択します。

メロディー画面が表示されましたら、音量を設定する小節のページを指定します。
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目の音量を設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、音量を設定する小節の調節バーのつまみを移動して、音量を設定します。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

[小節ごとの設定]
↓
音量を設定するパートを選択!
例: [メロディー]を選択

音量を設定する小節を含むページを指定! ①

①

②

[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

②

[閉じる]をクリック!

①

調節バーのつまみを移動して音量を設定!

その他の機能・操作説明

[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定して音量を設定することができます。

[小節ごとの設定]メニューから[音量]を選択します。
[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]
の中から、音量を設定するパートを選択します。
例として、[メロディー]を選択します。

「メロディーの音量」画面が表示されましたら、
[小節]メニューをクリックします。

「小節(範囲指定)」画面が表示されますので、
音量を設定する小節範囲を指定します。

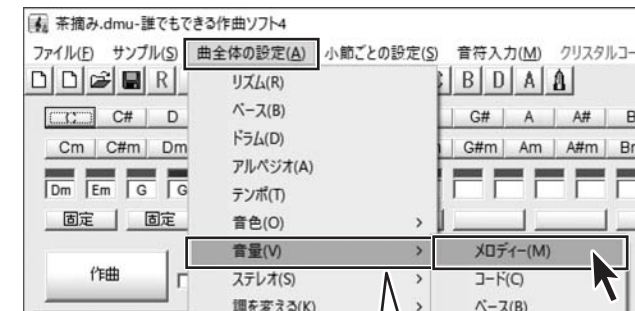
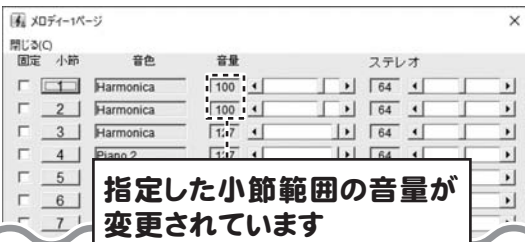
< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ
<<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わり
ます。

ここでは、1～2小節目の音色を設定しますので、
上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]を
クリックします。

「メロディーの音量」画面で、調節バーのつまみ
を移動して音量を設定し、[確定して閉じる]を
クリックして画面を閉じます。

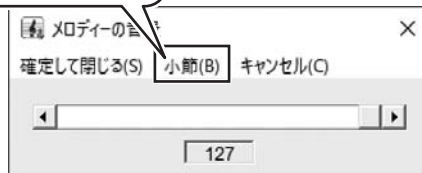
[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを
表示すると、指定した範囲の音量が変更されて
いるのが確認できます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを
表示すると…



[曲全体の設定]→音量
→音量設定するパートを選択!
例: [メロディー]を選択

[小節]をクリック!

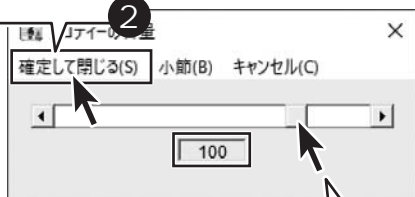


[閉じる]をクリック!



範囲を指定!
例: 1～2小節を指定

[確定して閉じる]を
クリック!



調節バーのつまみを移動して音量を設定!

その他の機能・操作説明

各小節ごとにリズムパターンを設定する

2小節ごとにリズムパターンを設定します。曲全体のリズムパターンを設定する方法は36ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

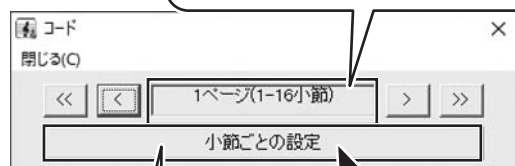
まずは、[小節ごとの設定]メニューからコードを選択して、コード画面を表示します。

コード画面が表示されましたら、音色を設定する小節のページを指定します。
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1～2小節のリズムパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

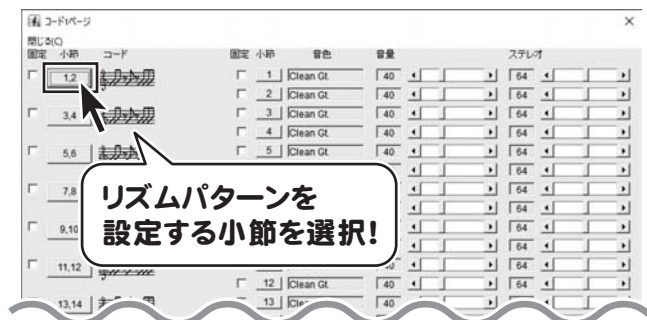


リズムパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「コード1ページ」画面が表示されましたら、リズムパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1～2小節目のリズムパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。



その他の機能・操作説明

リズムパターン画面が表示されます。

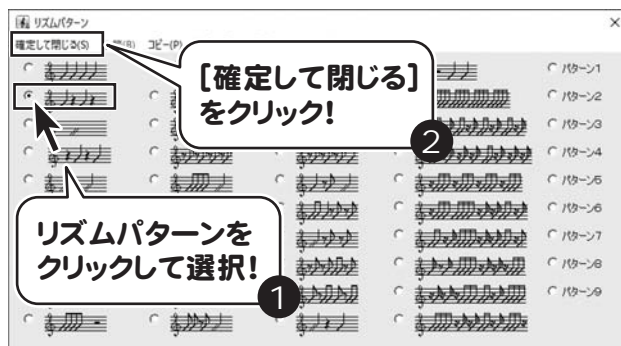
ここでは、[左から1列目の上から2番目のリズムパターン]を選択します。

変更するリズムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、コード1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

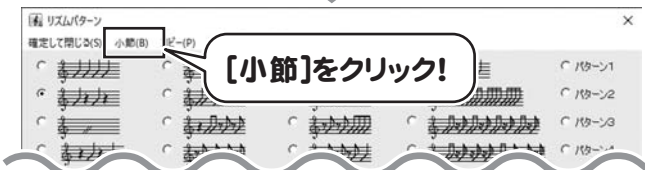
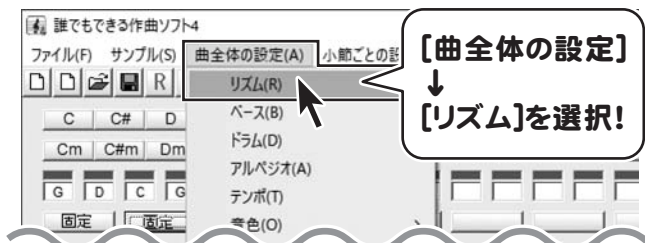


[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してリズムパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

リズムパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、リズムパターン画面に戻ります。変更するリズムパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のリズムパターンが変更されます。



小節(範囲指定)画面を表示
(49ページと同様の流れになります)

その他の機能・操作説明

各小節ごとにベースパターンを設定する

2小節ごとにベースパターンを設定します。曲全体のベースパターンを設定する方法は37ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューからコードを選択して、コード画面を表示します。

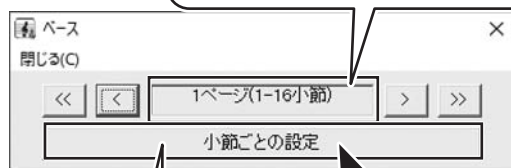
コード画面が表示されましたら、ベースパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1～2小節目のベースパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。

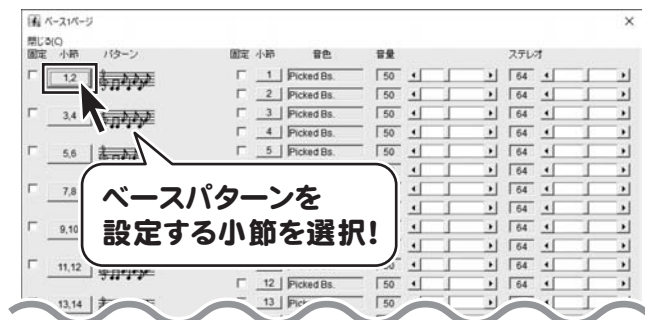


ベースパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「ベース1ページ」画面が表示されましたら、ベースパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1～2小節目のベースパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。



その他の機能・操作説明

ベースパターン画面が表示されます。

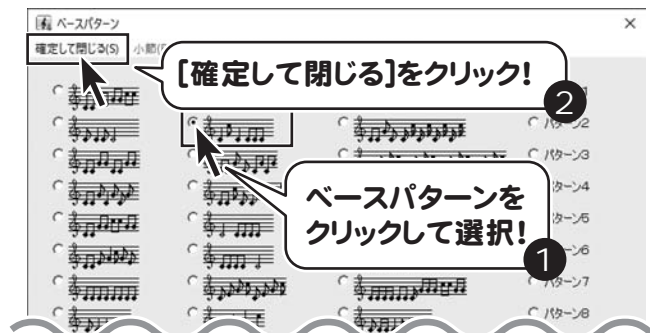
ここでは、[左から2列目の上から3番目のベースパターン]を選択します。

変更するベースパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ベース1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



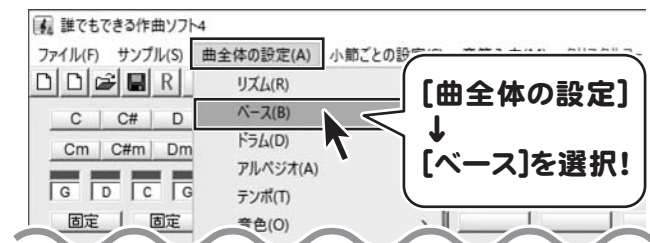
ベースパターンが設定されました

[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してベースパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

ベースパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、ベースパターン画面に戻ります。変更するベースパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のベースパターンが変更されます。



小節(範囲指定)画面を表示
(49ページと同様の流れになります)

その他の機能・操作説明

各小節ごとにドラムパターンを設定する

1小節ごとにドラムパターンを設定します。曲全体のドラムパターンを設定する方法は38ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

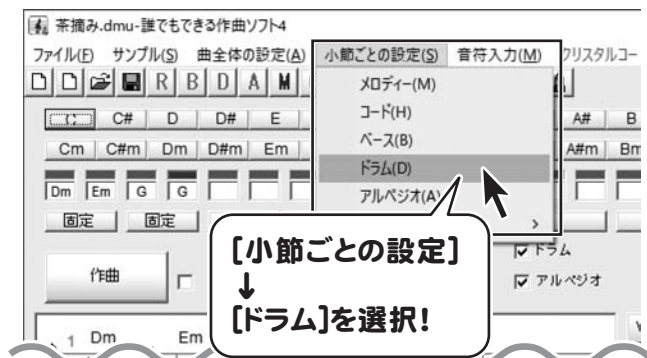
ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[ドラム]を選択して、ドラム画面を表示します。

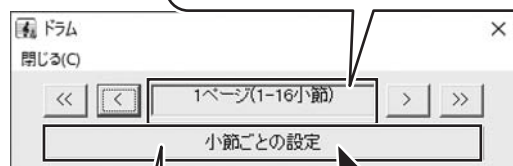
ドラム画面が表示されましたら、ドラムパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1ページ]にして、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



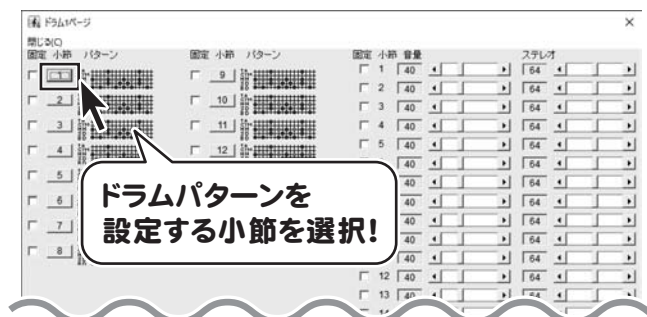
ドラムパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

2

「ドラム1ページ」画面が表示されましたら、ドラムパターンを設定する小節をクリックします。ここでは、1小節目のドラムパターンを設定しますので、[1]をクリックして選択します。



その他の機能・操作説明

ドラムパターン画面が表示されます。

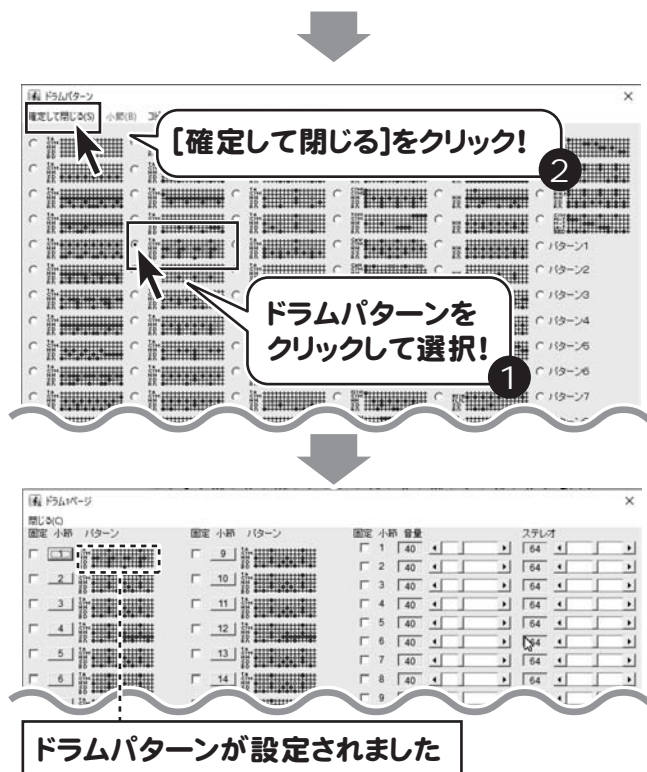
ここでは、[左から2列目の上から5番目のドラムパターン]を選択します。

変更するドラムパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、ドラム1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

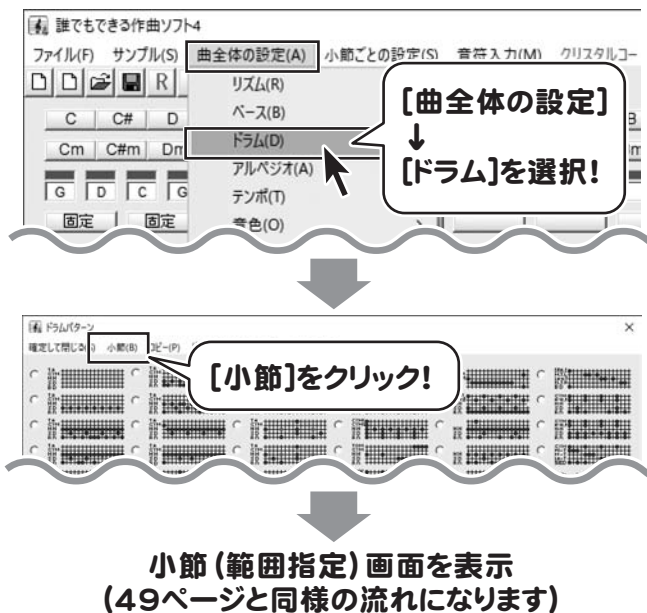


[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してドラムパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

ドラムパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、ドラムパターン画面に戻ります。変更するドラムパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のドラムパターンが変更されます。



その他の機能・操作説明

曲全体のアルペジオパターンを設定する

曲全体にアルペジオパターンを設定します。

2小節ごとのアルペジオパターンを設定する方法は59～60ページをご覧ください。

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [アルペジオ]をクリックします。

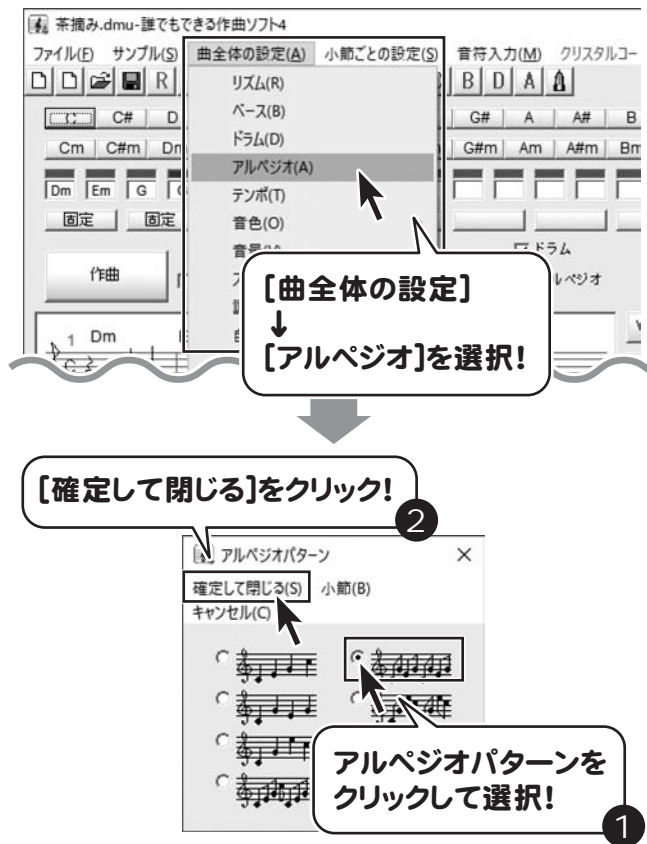
アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から2列目の上から1番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

各小節ごとにアルペジオパターンを設定する

2小節ごとにアルペジオパターンを設定します。曲全体のアルペジオパターンを設定する方法は58ページをご覧ください。

[小節ごとの設定]メニューから設定する

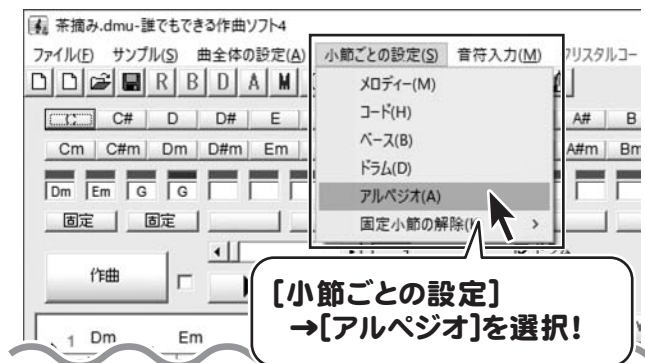
ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

まずは、[小節ごとの設定]メニューから[アルペジオ]を選択して、アルペジオ画面を表示します。

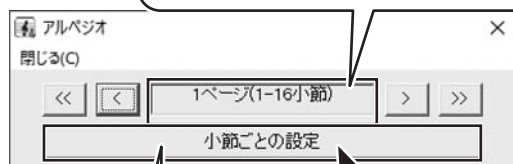
アルペジオ画面が表示されましたら、アルペジオパターンを設定する小節のページを指定します。

< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつページが送られます。

例では、1小節目のアルペジオパターンを設定しますので、[1ページ]にします。ページ指定ができましたら、[小節ごとの設定]ボタンをクリックします。



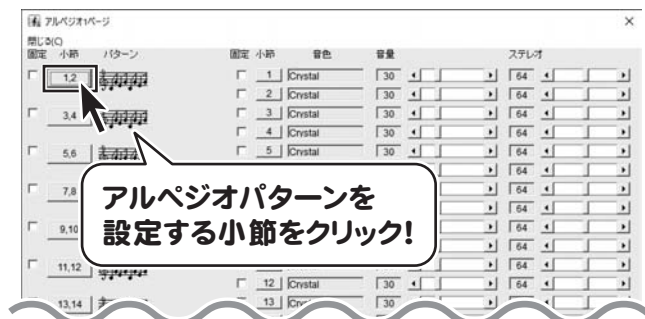
アルペジオパターンを設定する小節を含むページを指定!



[小節ごとの設定]ボタンをクリック!

「アルペジオ1ページ」画面が表示されましたら、アルペジオパターンを設定する小節をクリックします。

ここでは、1、2小節目のアルペジオパターンを設定しますので、[1,2]をクリックして選択します。



その他の機能・操作説明

アルペジオパターン画面が表示されます。

ここでは、[左から1列目の上から2番目のアルペジオパターン]を選択します。

変更するアルペジオパターンの○をクリックして選択、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じて、アルペジオ1ページ画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。

[確定して閉じる]をクリック!



アルペジオパターンをクリックして選択!



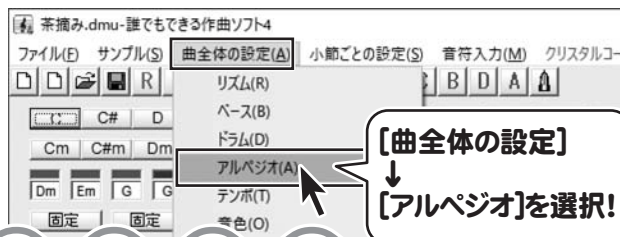
アルペジオパターンが設定されました

[曲全体の設定]メニューから小節範囲を指定する

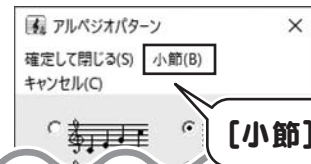
[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してアルペジオパターンを設定することができます。

操作の流れは、49ページと同様です。

アルペジオパターン画面の[小節]をクリックすると「小節(範囲指定)」画面が表示されますので範囲を指定後、アルペジオパターン画面に戻ります。変更するアルペジオパターンを選択して[確定して閉じる]をクリックすると、範囲指定した小節のアルペジオパターンが変更されます。



**[曲全体の設定]
↓
[アルペジオ]を選択!**



[小節]をクリック!

**小節(範囲指定)画面を表示
(49ページと同様の流れになります)**

その他の機能・操作説明

曲全体のステレオ設定をする

曲全体の音の出る方向を設定します。

1小節ごと、または2小節ごとにステレオの調整を行う方法は62ページをご覧ください。

ここでは10～29ページで作成した
「茶摘み」4小節を例に説明します。

[曲全体の設定]メニュー → [ステレオ]を
クリックします。

[メロディ] [コード] [ベース] [アルペジオ]から
設定するパートを選択します。

例として、[メロディー]を選択します。

メロディーのステレオ画面が表示されましたら、
調節バーのつまみを移動して設定します。

[確定して閉じる]をクリックして、
メロディーのステレオ画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。

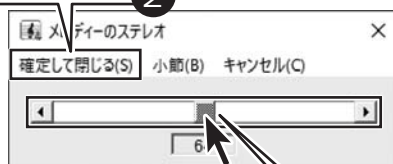
変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



[確定して閉じる]
をクリック!



つまみを移動して
設定!

その他の機能・操作説明

各小節ごとにステレオ設定をする

1小節ごと、または2小節ごとに音の出る方向を設定します。
曲全体のステレオの調整を行う方法は61ページをご覧ください。

【小節ごとの設定】メニューから設定する

ここでは10～29ページで作成した
「茶摘み」4小節を例に説明します。


まずは、【小節ごとの設定】メニューからステレオの
調節を行うパートを選択します。
【メロディ】 【コード】 【ベース】 【ドラム】 【アルペジオ】
の中から、例として【メロディー】を選択します。

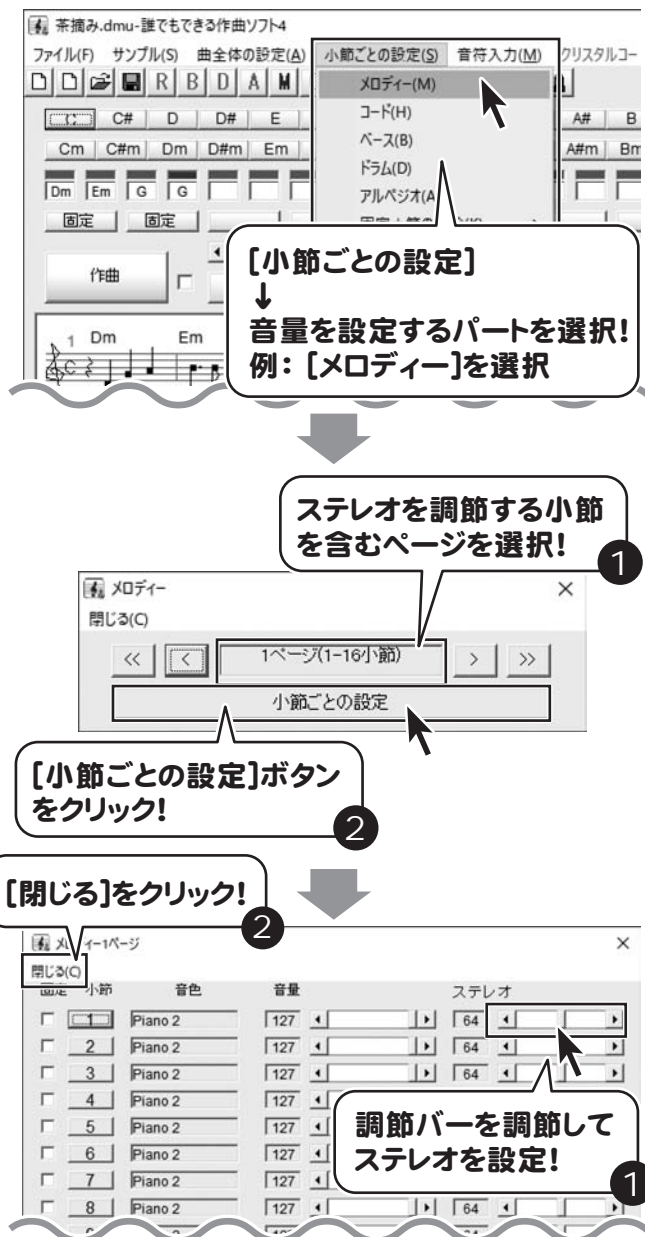
メロディー画面が表示されましたら、
ステレオの調節を行う小節のページを指定します。
< > で1ページずつ、<< >> で10ページずつ
ページが送られます。

ここでは、1小節目のステレオを調節しますので、
【1ページ】にして、【小節ごとの設定】ボタンを
クリックします。

「メロディー1ページ」画面が表示されましたら、
ステレオを調節する小節の調節バーを調整して、
ステレオの調節を行います。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
【作曲】ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。



茶摘み.dmu-誰でもできる作曲ソフト4

ファイル(F) サンプル(S) 曲全体の設定(A) **小節ごとの設定(S)** 音符入力(M) クリスタルコー

メロディー(M) コード(H) ベース(B) ドラム(D) アルペジオ(A)

【小節ごとの設定】
↓
音量を設定するパートを選択!
例: 【メロディー】を選択

ステレオを調節する小節を含むページを選択! ①

メロディー 閉じる(C) << < 1ページ(1-16小節) > >> 小節ごとの設定

【小節ごとの設定】ボタンをクリック! ②

【閉じる】をクリック! ②

メロディー1ページ 閉じる(C) 小節 音色 音量 ステレオ

1 2 3 4 5 6 7 8

Piano 2 127 64

調節バーを調節してステレオを設定! ①

その他の機能・操作説明

[曲全体の設定]メニューから設定する

[曲全体の設定]メニューから、小節範囲を指定してステレオの調節を行うことができます。

[曲全体の設定]メニューから[ステレオ]を選択します。

[メロディ] [コード] [ベース] [ドラム] [アルペジオ]の中から、ステレオの調節をするパートを選択します。例として、[メロディー]を選択します。

「メロディーのステレオ」画面が表示されましたら、[小節]メニューをクリックします。

「小節(範囲指定)」画面が表示されますので、音量を設定する小節範囲を指定します。

< > で1小節ずつ、<< >> で10小節ずつ、<<< >>> で100小節ずつ小節の数値が変わります。

例として、1～2小節目のステレオの調節をしますので、上段に[1]、下段に[2]と指定して、[閉じる]をクリックします。

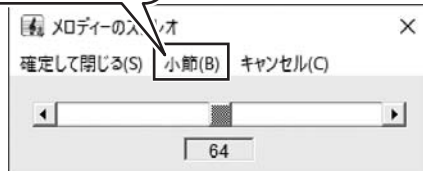
「メロディーのステレオ」画面で、調節バーのつまみを移動して数値を設定し、[確定して閉じる]をクリックして画面を閉じます。

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを表示すると、指定した範囲のステレオ数値が変更されているのが確認できます。



**[曲全体の設定]→ステレオ
→設定するパートを選択!
例: [メロディー]を選択**

[小節]をクリック!

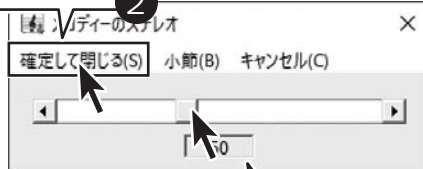


[閉じる]をクリック!



**範囲を指定!
例: 1～2小節を指定**

**[確定して閉じる]を
クリック!**



つまみを移動してステレオを調節!

[小節ごとの設定]→[メロディー]から小節ページを表示すると…



**指定した小節範囲の
ステレオ調節ができました**

その他の機能・操作説明

ドラムパターンを編集する

47種類の打楽器を組み合わせてドラムパターンを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー→[ドラム]をクリックします。

ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、
[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

ドラムパターンは、パターン1～パターン3まで、
初期設定でサンプルのドラムパターンが設定
されています。

ここでは、

- ①パターン1をコピーして、パターン4に貼り付け、
- ②パターン4で、貼り付けられたパターンを
アレンジしてオリジナルのドラムパターンを
作成、保存します。

まずは、パターン1をコピーします。

- 1 ボタンをクリックして選択すると、
パターン表示エリアに、パターン1に設定されて
いるサンプルのドラムパターンが表示されます。

パターン1のドラムパターンを選択しましたら、

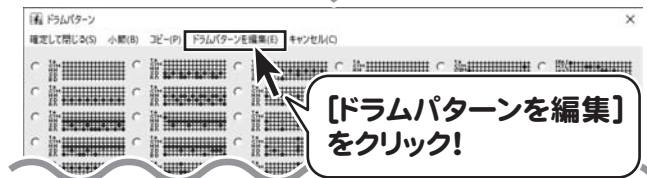
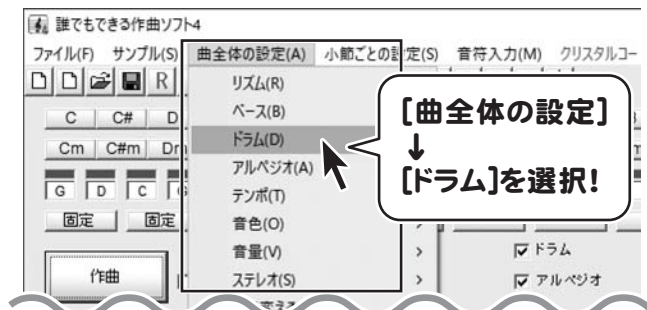
- C ボタンをクリックして、選択したパターン1の
ドラムパターンをコピーします。

- 1 ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パターン1のドラムパターンがコピーされます。

次に、

コピーしたドラムパターンをパターン4に
貼り付けます。

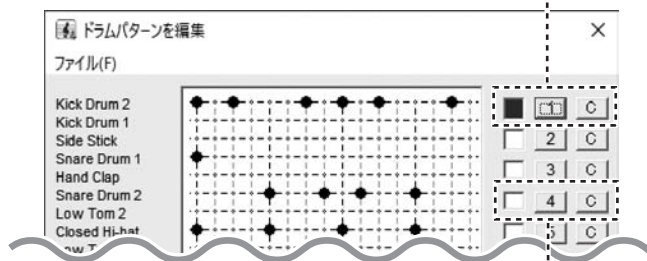
- 4 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示
が青くなり、パターン表示エリアに、パターン1の
ドラムパターンが貼り付けられました。



- ① 1 ボタンをクリックして、パターン1を選択!
- ② C ボタンをクリックして、パターン1をコピー!



コピーされると、赤い表示になります。




- ③ 4 ボタンをクリックして、コピーした 1 の
ドラムパターンを貼り付け!

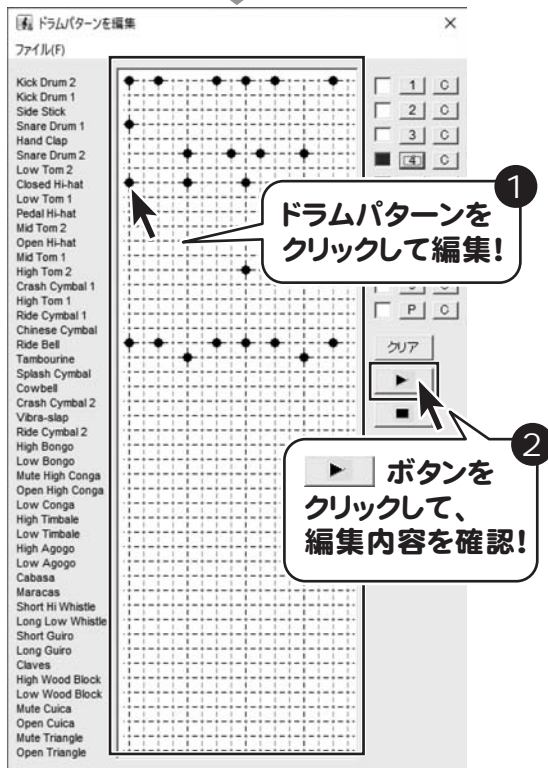


貼り付けられると、青い表示になります。

その他の機能・操作説明

ドラムパターン編集エリアは、縦軸が「楽器」で、横軸が「時間」を表しています。交点をクリックすると、黒点が表示されます。もう一度クリックすると、黒点が消えます。黒点で音を設定します。

編集したドラムパターンを試聴したい時は、 ボタンをクリックして、編集内容を確認します。



ドラムパターンを作成したら、ドラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー → [名前を付けて保存]を選択します。

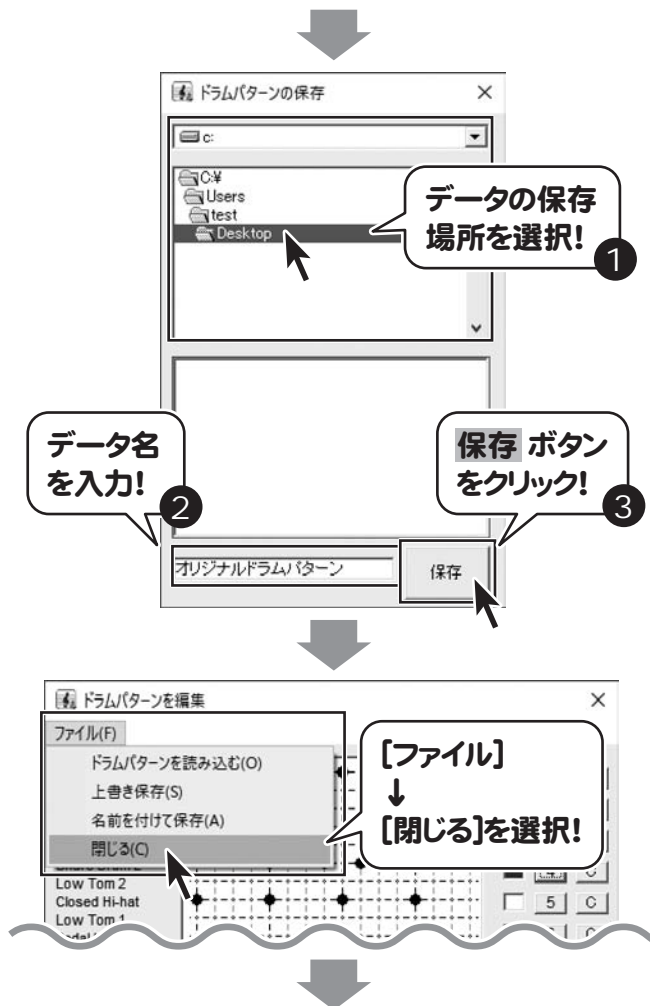


その他の機能・操作説明

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.de4」になります。

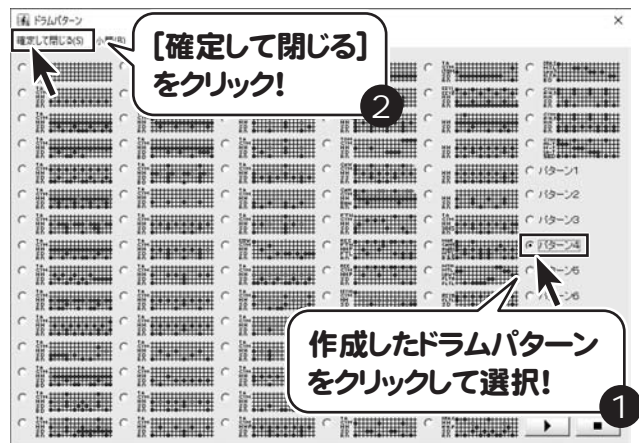
ドラムパターンの保存が終わりましたら、[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、ドラムパターンの編集画面を閉じます。



作成したドラムパターンを曲全体に設定する場合は、作成したドラムパターンの○をクリックして選択し、[確定して閉じる]をクリックして、画面を閉じてメイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、**作曲** ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワードラムを設定する

パワードラムとは、複雑なドラムパターンを自動的に作成する機能です。非常に強力なリズムを作ることができます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。

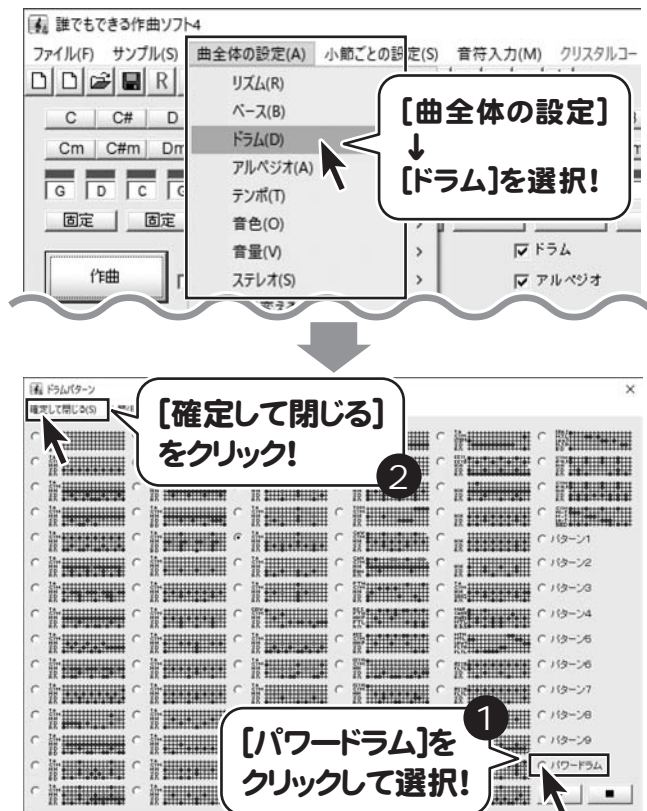
ドラムパターン画面が表示されます。

[パワードラム]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、

 ボタンをクリックします。

※パワードラムに設定していると、**作曲** ボタンをクリックするごとに、パワードラムのパターンが変わります。
気に入るパターンが出てくるまで **作曲** ボタンをクリックしてパワードラムのパターンを試聴してください。



その他の機能・操作説明

パワードラムをデータとして保存する

67ページの操作手順でパワードラムを設定して、自動作成されたパワードラムをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワードラムのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ドラム]をクリックします。
ドラムパターン画面が表示されます。

ドラムパターン画面が表示されましたら、
[ドラムパターンを編集]をクリックします。
ドラムパターンを編集画面が表示されます。

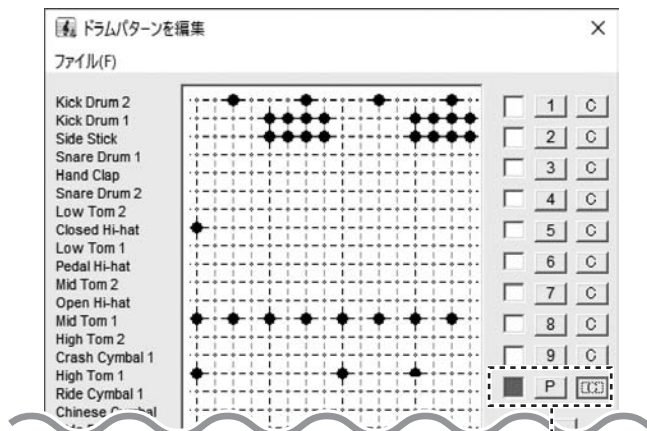
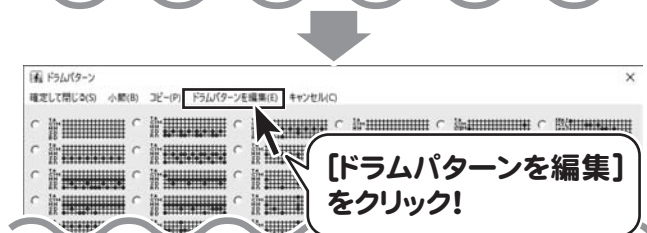
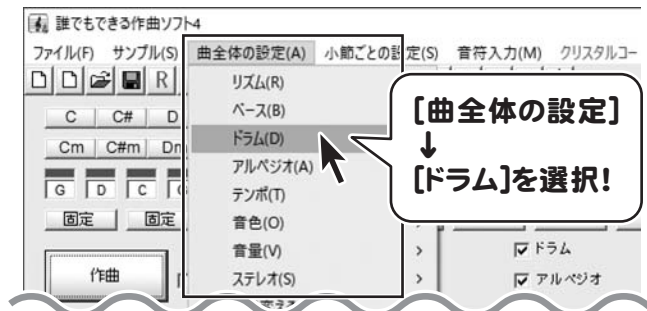
まずは、データとして保存するパワードラム
パターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
パターン表示エリアにパワードラムパターン
に設定されているパワードラムパターンが表示
されます。

パワードラムパターンを選択しましたら、

C ボタンをクリックして選択した
パワードラムパターンをコピーします。

P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワードラムパターンがコピーされます。



① **P** ボタンをクリックして、パワードラムを選択!

② **C** ボタンをクリックして、パワードラムをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

次に、
コピーしたパワードラムパターンをパターン5に
貼り付けます。

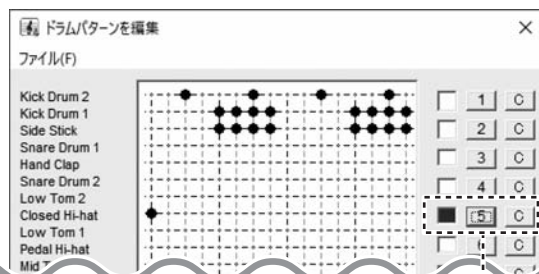
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示が
青くなり、エディット表示エリアに
パワードラムパターンがコピーされました。

コピーしたパワードラムパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ドラムパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

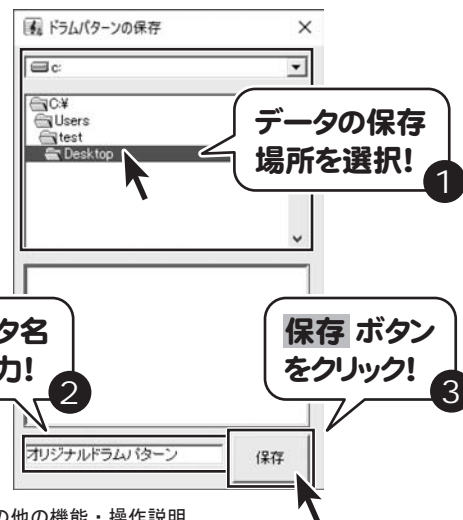
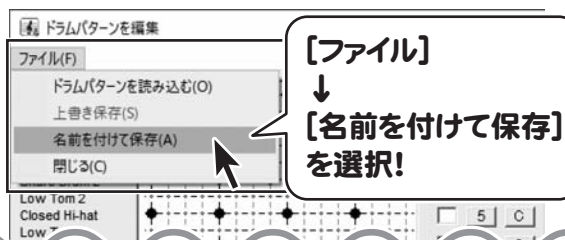
データの保存形式は「.de4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした
ドラムパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

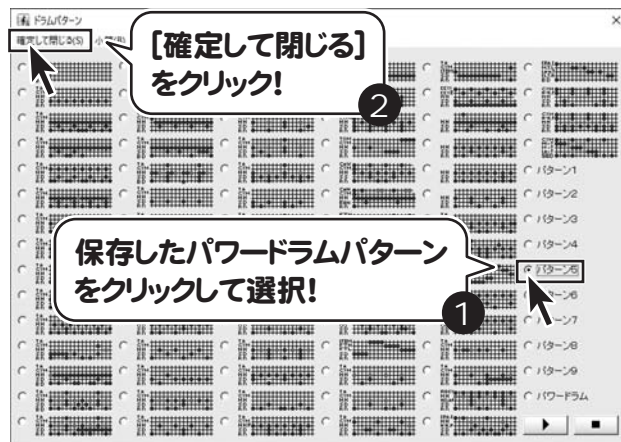
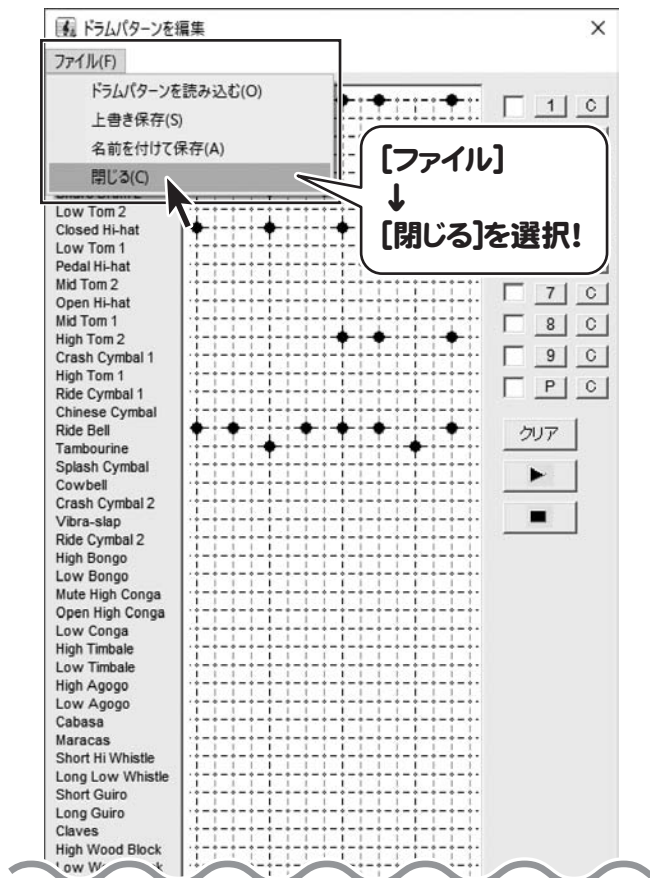
ドラムパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ドラムパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワードラムパターンを曲全体に設定
する場合は、
作成したドラムパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワーベースを設定する

パワーベースとは、複雑なベースパターンを自動的に作成する機能で非常に強力なベースラインを作ります。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。

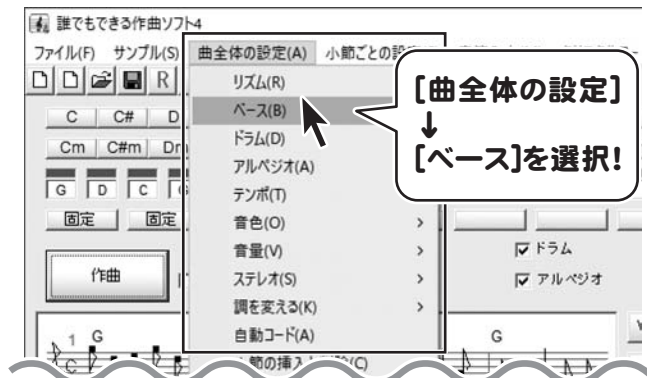
ベースパターン画面が表示されます。

[パワーベース]の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

パワーベースをデータとして保存する

71ページの操作手順でパワーベースを設定して、自動作成されたパワーベースをデータとして保存することができます。新しい曲を作る場合などに、ここで保存したパワーベースのパターンデータを使用できます。

[曲全体の設定]メニュー → [ベース]をクリックします。
ベースパターン画面が表示されます。

ベースパターン画面が表示されましたら、
[ベースパターンを編集]をクリックします。
ベースパターンを編集画面が表示されます。

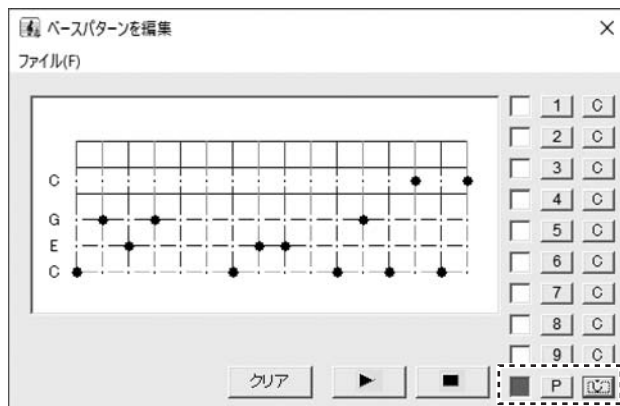
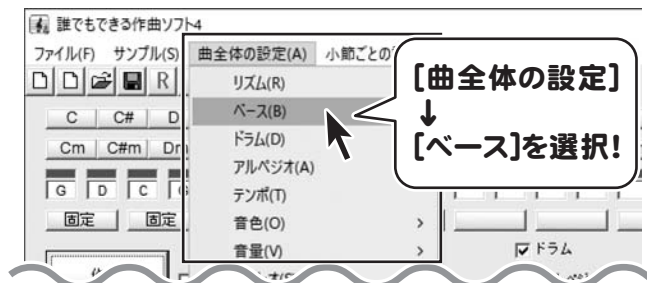
まずは、データとして保存するパワーベースパターンをコピーします。

P ボタンをクリックして選択すると、
エディット表示エリアにパワーベースパターン
に設定されているパワーベースパターンが表示
されます。

パワーベースパターンを選択しましたら、

C ボタンをクリックして選択した
パワーベースパターンをコピーします。

P ボタンの左の枠内が赤い表示に変わり、
パワーベースパターンがコピーされます。



- ① **P** ボタンをクリックして、パワーベースを選択!
- ② **C** ボタンをクリックして、パワーベースをコピー!



コピーされると、赤い表示になります。

その他の機能・操作説明

次に、
コピーしたパワーベースパターンをパターン5に
貼り付けます。

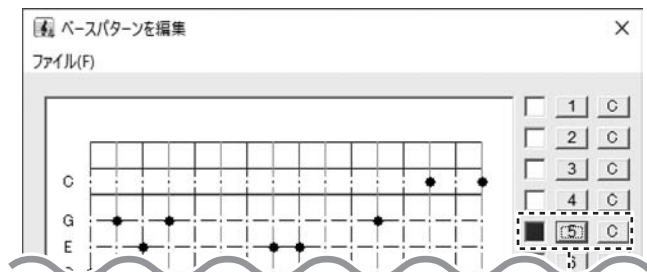
5 ボタンをクリックすると、左の枠内の表示
が青くなり、エディット表示エリアに
パワーベースパターンがコピーされました。

コピーしたパワーベースパターンを保存します。

[ファイル]メニュー →
[名前を付けて保存]を選択します。

ベースパターンの保存画面が表示されますので、
データを保存する場所を選択して、
データ名を入力します。
保存の各設定が終わりましたら、
保存 ボタンをクリックしてください。

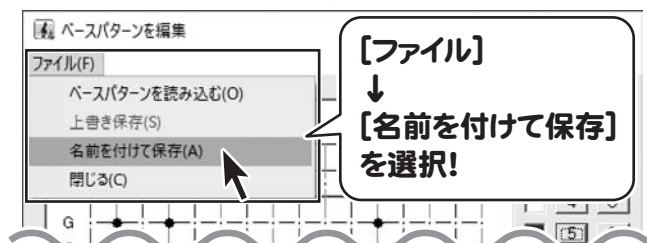
データの保存形式は「.be4」になります。



③ **5** ボタンをクリックして、コピーした
ベースパターンを貼り付け!



貼り付けされると、青い表示になります。



その他の機能・操作説明

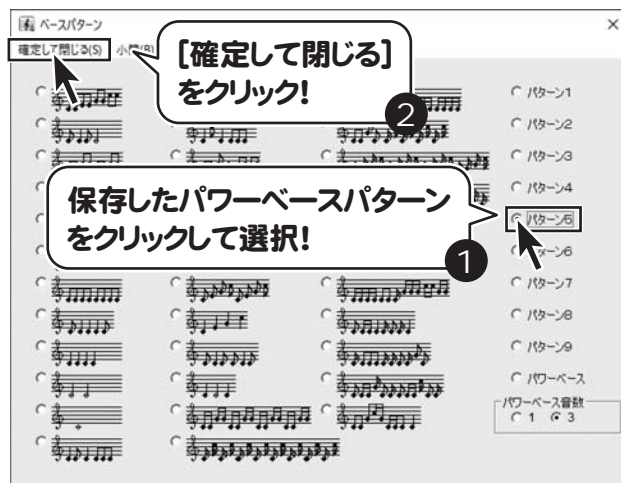
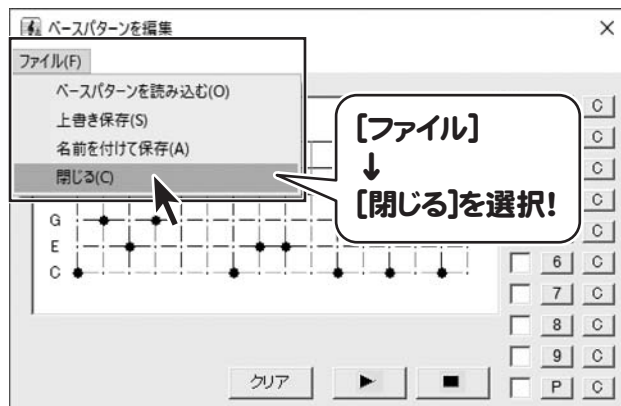
ベースパターンの保存が終わりましたら、
[ファイル]メニュー→[閉じる]を選択して、
ベースパターンを編集画面を閉じます。

保存したパワーベースパターンを曲全体に設定
する場合は、
作成したベースパターンの○をクリックして
選択、[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。

変更を確認するには、メイン画面に戻り、
作曲 ボタンをクリックして、



ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成する

クリスタルコードは、曲に透明感のあるダイナミックなコード(和音)をつけることができる機能です。

ここでは10~29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

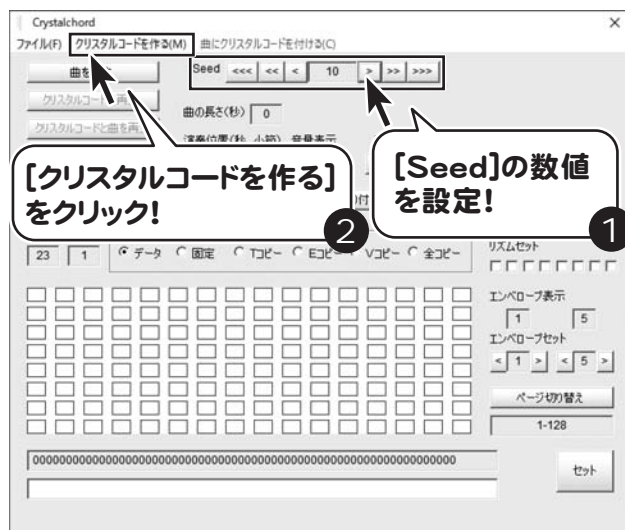
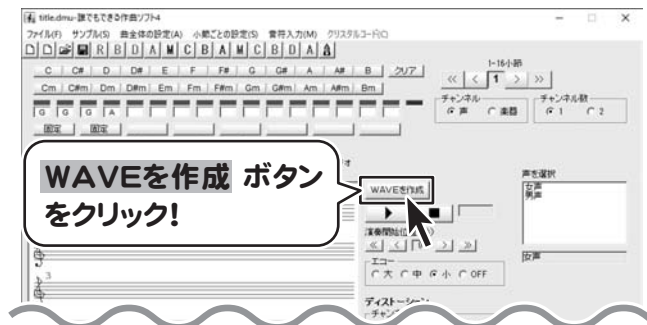
作曲が終わりましたら、**WAVEを作成** ボタンをクリックしますと、WAVEファイルが作成され、クリスタルコードが使用できるようになります。

メイン画面の[クリスタルコード]メニューをクリックして、Crystalchord画面を表示します。

クリスタルコードの音色は無数あり、[Seed]の数値を変更していくことで、クリスタルコードの音色を変更することができます。音色は小節ごとにセットされ、4小節の場合は4つの音色が作成されます。

まずは、曲につけるクリスタルコードを選択します。

[Seed]の数値を設定して、(ここでは、[5]を使用します)
[クリスタルコードを作る]をクリックします。
クリスタルコードの作成が終わると、自動で作成したクリスタルコードが再生されます。



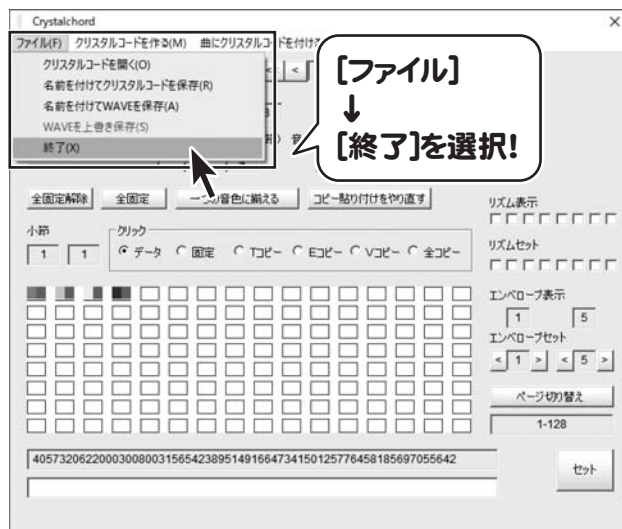
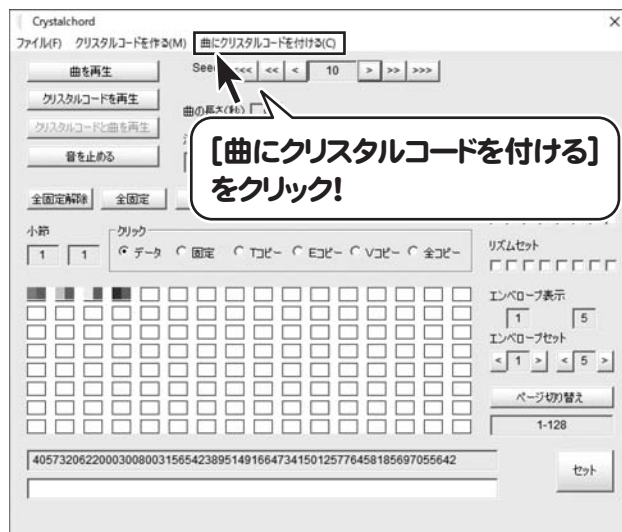
その他の機能・操作説明

クリスタルコードを作成しましたら、
曲にクリスタルコードを設定します。

[曲にクリスタルコードを付ける]をクリックしてください。

クリスタルコードが曲に設定されると、自動で
作成した曲とクリスタルコードが再生されます。

クリスタルコードのすべての設定が
終わりましたら、[ファイル]メニュー→[終了]を
クリックして、Crystalchord画面を閉じて、
メイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

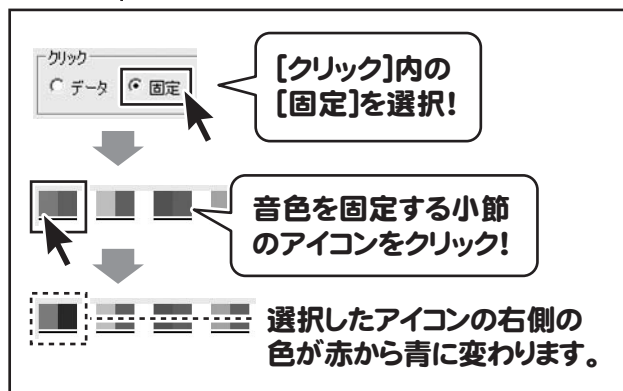
現在表示されている クリスタルコードの音色を固定する

例として、1小節目の音色を固定します。

[クリック]内の[固定]にチェックを入れて、
1小節目のアイコンをクリックします。

1小節目のアイコンの右側の色が赤から青に
変わります。
(赤色は固定されてない状態、青色は固定された
状態を表します)

1小節目を固定して、[Seed]の数値を変更、
[クリスタルコードを作る]をクリックすると、
1小節目の音色は固定されているので、変更され
ません。
2小節目以降は音色が変更されます。



その他の機能・操作説明

クリスタルコードのリズムを設定する

例として、1小節目のリズムを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

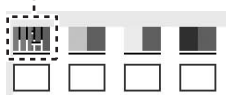
リズムを設定するアイコンを選択しましたら、リズムを設定します。

[リズムセット]内のチェックボックスをクリックして、チェックの有無でリズムを設定します。

リズムの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。

選択した小節にリズムが設定されました



クリック欄の[データ]を選択!

リズムを設定する小節のアイコンをクリック!

選択した小節の番号が表示されます

リズムセット内のチェックボックスをクリック!

セット ボタンをクリック!

[クリスタルコードを作る]をクリック!

その他の機能・操作説明

クリスタルコードのエンベロープを設定する

例として、1小節目のエンベロープを設定します。

[クリック]内の[データ]にチェックを入れて、1小節目のアイコンをクリックします。

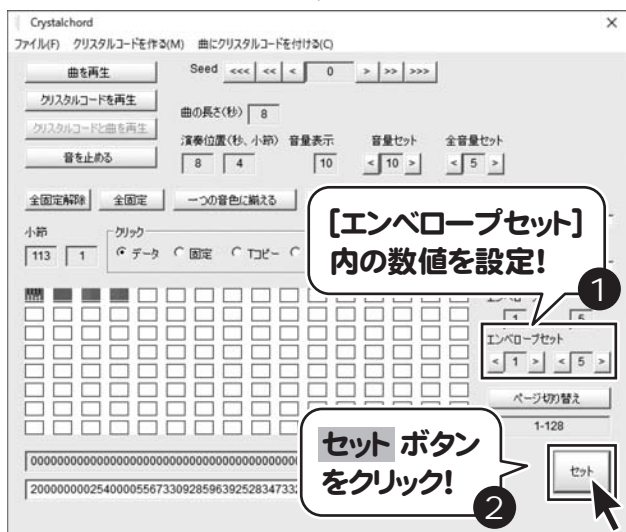
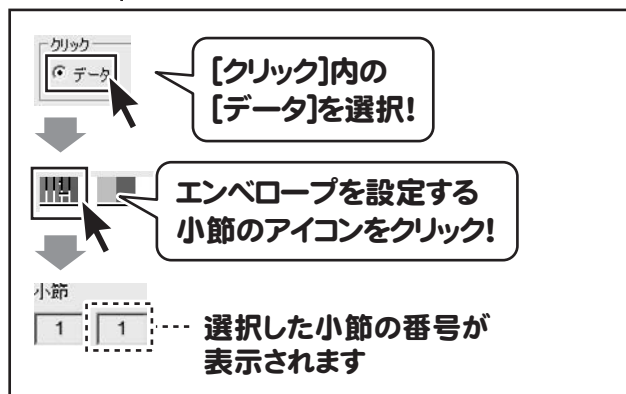
エンベロープを設定するアイコンを選択したら、エンベロープを設定します。

[エンベロープセット]内の数値を変更して、エンベロープを設定します。

エンベロープの設定が終わりましたら、**セット** ボタンをクリックします。

最後に[クリスタルコードを作る]をクリックしてクリスタルコードに設定を適用します。

※エンベロープは、リズムが設定されている場合に有効になります。



その他の機能・操作説明

楽器チャンネルを設定する

メロディーとして[声]とあわせて、[楽器]を設定することができます。
10～29ページで作成した「茶摘み」の[声]のメロディーの楽譜です。



これから、下図の楽譜を[楽器]のメロディーとして設定します。

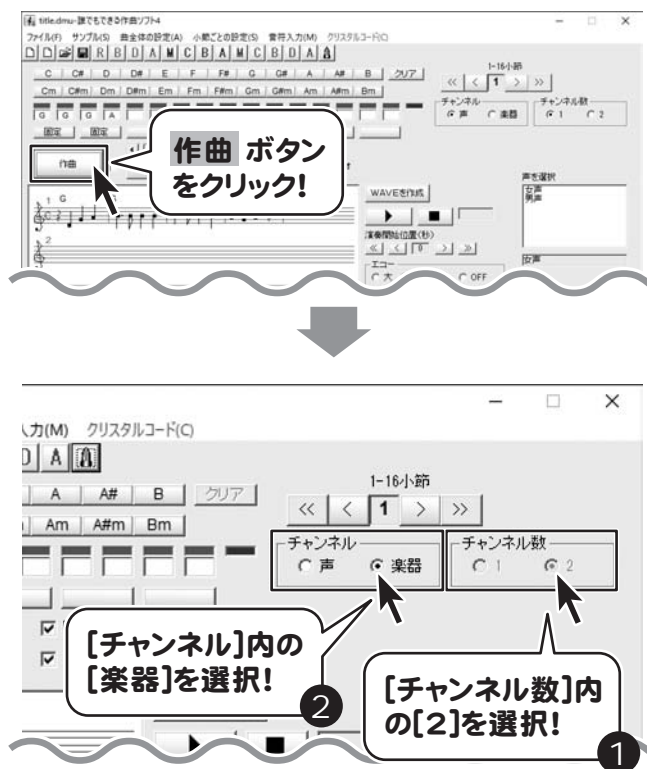


ここでは10～29ページで作成した
「茶摘み」4小節に[楽器]チャンネルを設定する
方法を説明します。

まず、**作曲** ボタンをクリックして、
MIDIファイルを作成します。

次に、[楽器]チャンネルを設定する画面に
切り替えます。

メイン画面で[チャンネル数]内の[2]をクリック
して選択し、[チャンネル]内の[楽器]をクリック
します。



その他の機能・操作説明

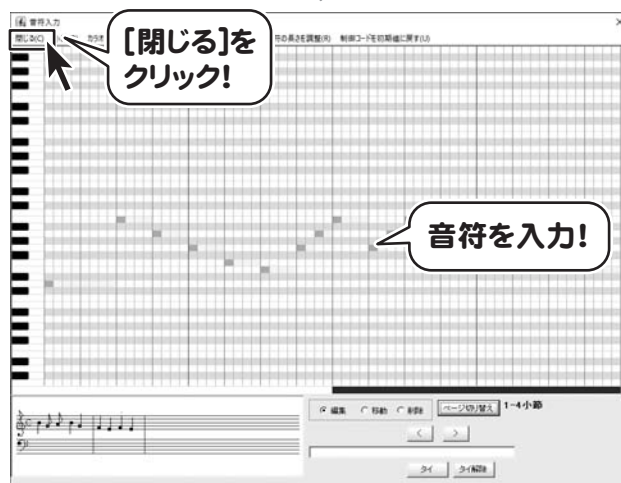
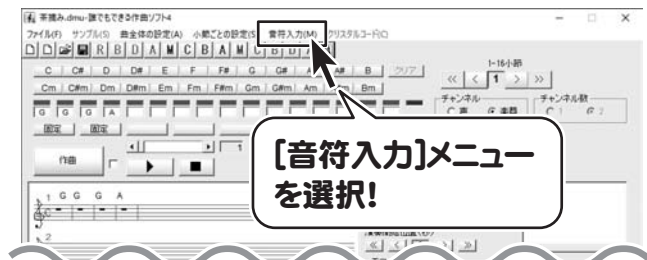
[楽器]チャンネルを設定する画面に切り替わりましたら、音符画面を表示します。

[音符入力]メニューをクリックします。

音符画面が表示されましたら、
[楽器]チャンネルの音符を入力します。

15～20ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に
反映されます。



音符入力が終わりましたら、
[楽器]チャンネルの音色を設定します。

[曲全体の設定]メニュー → [音色] → [メロディー]
をクリックします。
メロディーの音色画面が表示されます。




その他の機能・操作説明

例として音色は[Jazz Gt.]を選択します。

変更する音色の○をクリックして選択、
[確定して閉じる]をクリックして、
画面を閉じて、メイン画面に戻ります。



メイン画面に戻ったら、
作曲 ボタンをクリックします。

 ボタンをクリックして声と楽器の
チャンネルのメロディーが合わさって再生され
ます。

※声だけを試聴したい場合は、チャンネルを
「●声」、チャンネル数を[●1]にして
作曲ボタンをクリックすると、楽器のメロディーは
聴こえなくなります。



その他の機能・操作説明

コードを作成する

最初から登録されているコード以外に、コードを自由に作成して使用することができます。
※「コードを作成」機能で作るコードは、リズムパターンにだけに使われます。

1 コード作成画面でコードの構成音を登録します

例:「C6」(メジャーシックスス)を作成する場合

[曲全体の設定]メニュー → [コードを作成]をクリックします。

コードを作成画面が表示されます。

コードは、初期設定でコード番号0~1にサンプルのコードが設定されています。

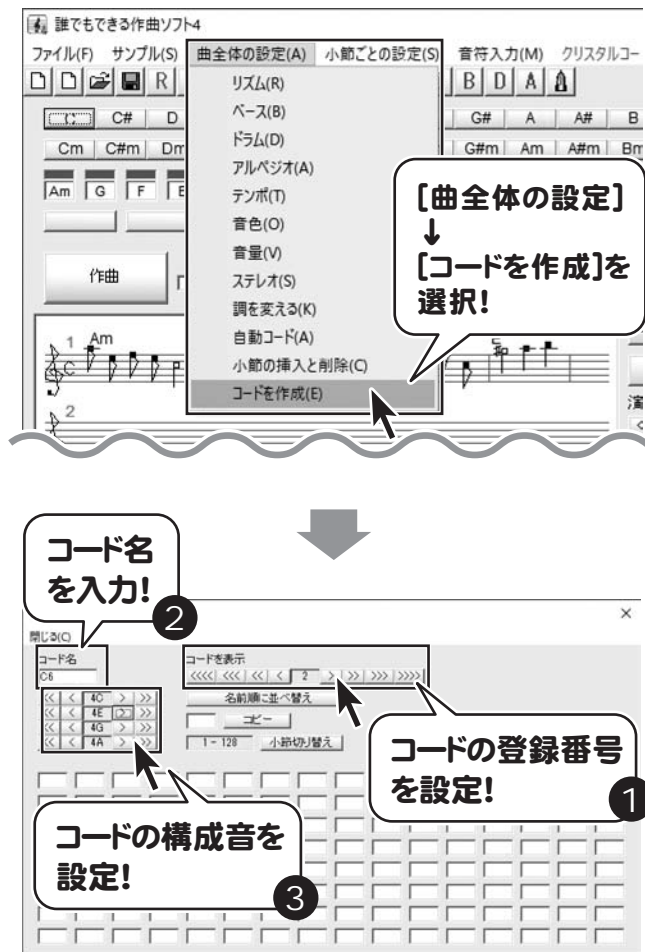
ここでは、例として、コード番号[2]に「C6」コードを作ります。

①コードの登録番号を設定します。
作成したコードは999個まで登録することができます。
[コードを表示]内の<< >> ボタンをクリックして、登録するコード番号を設定します。
例:[2]に登録します。

②[コード名]にコードの名前を入力します。
例:「C6」と入力します。

③コードの構成音を設定します。
例:[4C] [4E] [4G] [4A]と設定します。

①~③が終わりましたら、[閉じる]をクリックしてメイン画面に戻ります。



その他の機能・操作説明

2 作成したコードを曲に設定します

作成したコード「C6」を1小節目に設定する方法を説明します。

図のように、
1小節の入力欄に「C6」を入力します。

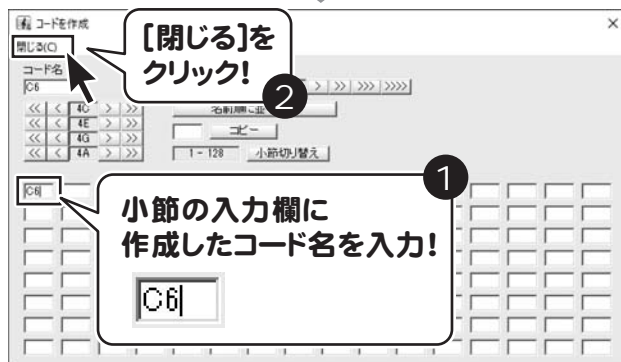
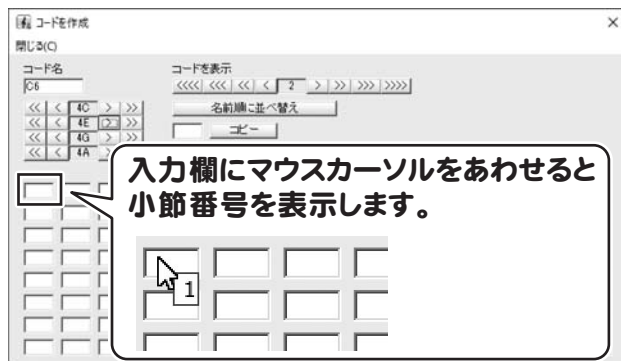
入力欄にマウスカースルをあわせると、入力欄の小節番号が表示されます。
設定する小節の欄に、作成したコード名を入力して、[閉じる]をクリックします。

メイン画面に戻りましたら、[作曲]ボタンをクリックしてデータを更新します。

メイン画面のコード入力ボックスの内容が更新されて、「C6」コードが1小節目に設定されます。

▶ ボタンをクリックして設定したコードを試聴できます。

「コードを作成」画面で、入力欄内のコード名を削除すると、メイン画面で設定したコードで演奏されます。



メイン画面



作成したコードが設定されます。「C6」コード(リズムパターン)で演奏されます。

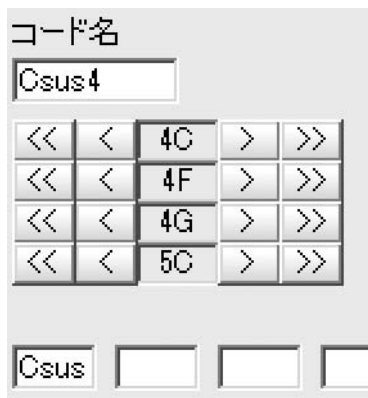
自動作曲(メロディー)、ベース、アルペジオは楽譜上のコードを元になっています。

その他の機能・操作説明

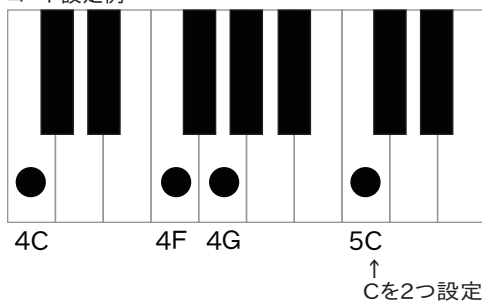


Csus4など3つの構成音のコードを作成するには

本ソフトは、4つの構成音でコードを作成する設定になっています。
Csus4(C・F・G)など3つの構成音のコードを作成したい場合は、
以下のように3つの音のうちの1つを4つ目に設定してください。



コード設定例



作成したコードをコピーする

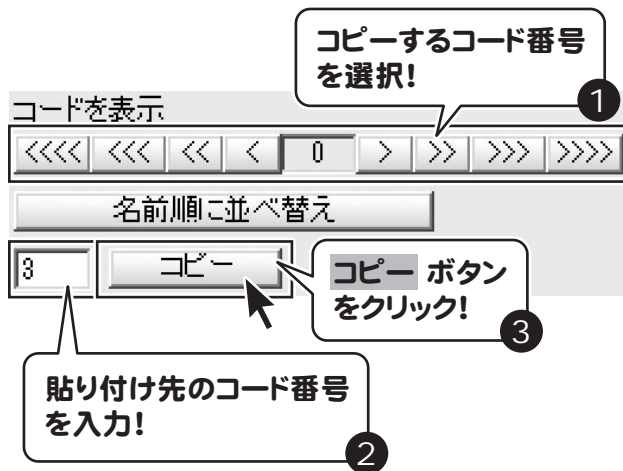
作成したコードをコピーして、別のコード番号に貼り付けすることができます。

右図例では、コード番号「0」のコードを
コード番号「3」にコピーします。

①[コードを表示]欄で **<** **>** ボタンをクリックして、コピーするコード番号を選択します。
例:「0」を選択

②貼り付け先の番号を入力欄に入力します。
例:「3」を入力

③ **コピー** ボタンをクリックします。
表示されているコード番号「0」のコードが
コピーされ、入力したコード番号「3」に貼り付けられます。



その他の機能・操作説明

楽譜を画像として保存する

ここでは10～29ページで作成した「茶摘み」4小節を例に説明します。

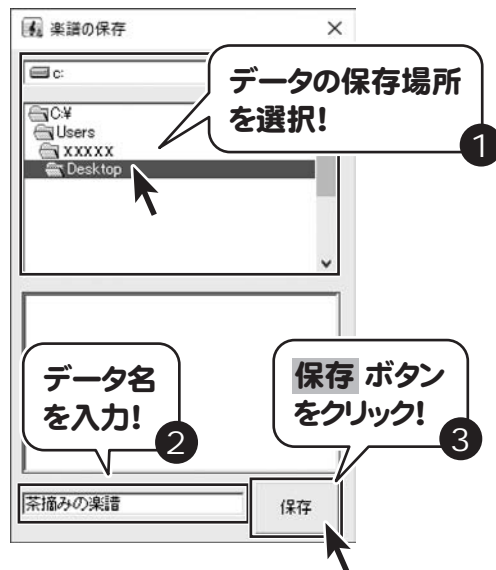
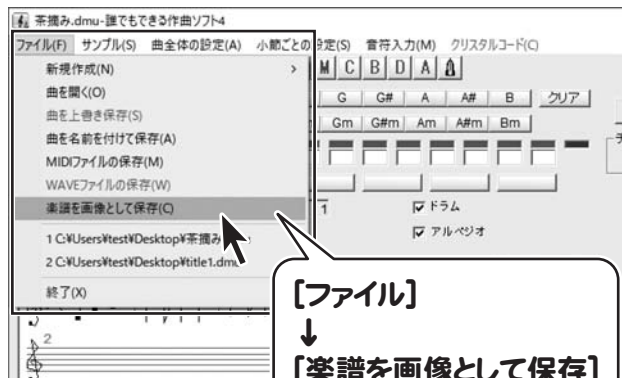
[ファイル]メニュー →

[楽譜を画像として保存]を選択します。

楽譜の保存画面が表示されますので、データを保存する場所を選択して、データ名を入力します。

保存の各設定が終わりましたら、**保存** ボタンをクリックしてください。

データの保存形式は「.bmp」になります。



その他の機能・操作説明

三連符を作成する

音符の長さを調整画面の機能を使って、音符の長さを少しだけ短く、または長くすることで、三連符を作ることができます。

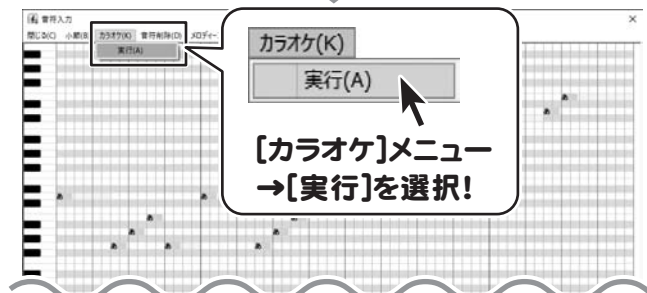
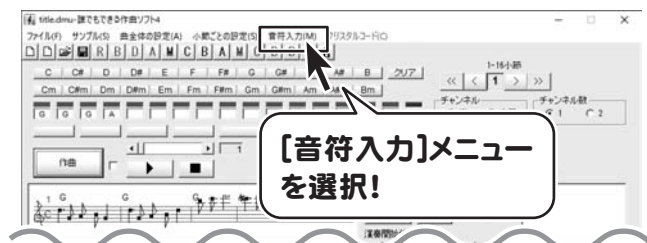
下記のように1小節分の音符を入力して、三連符を作成します。



[音符入力]メニューをクリックして、
音符入力画面を表示します。

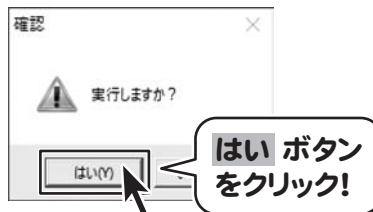
音符入力画面が表示されましたら、
自動作曲されたサンプルメロディーの音符を
すべて削除します。

[カラオケ]メニューから[実行]を選択します。

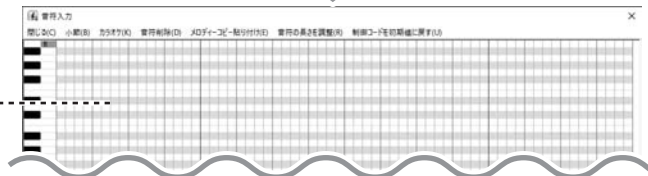


確認画面が表示されますので、内容を確認して
はい ボタンをクリックします。

入力されていた音符がすべて削除されます。



入力されていた音符が
すべて削除されました



その他の機能・操作説明

音符画面に入力されていた音符がすべて削除されましたら、三連符を作成する音符を入力します。

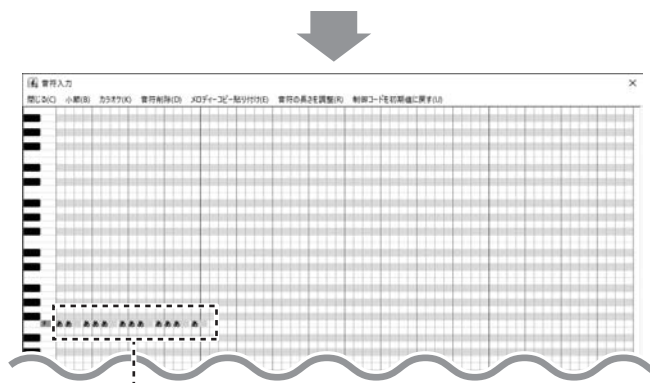
15～20ページの操作手順で右図のように音符を入力します。

すべての音符入力が終わりましたら、音符入力画面の[音符の長さを調整]をクリックして、音符の長さを調整画面を表示します。

音符の長さを調整画面で音符1つ1つの長さ（音符の音の再生位置）を微妙に調整することで、三連符を作成することができます。

ここでは右図のように、最初の8分音符を右に長くして、（音符の再生が少し遅くなります）次の16分音符を左に長く設定することで、（音符の再生が少し速くなります）並んだ3つの音符で三連符を作成します。その操作を繰り返して、三連符を連続して作成していきます。

※音符の長さを調整画面の詳細は、PDFマニュアル 39ページをご参照ください。



1小節

上記のように音符を入力します。

[音符の長さを調整]をクリック!

音符の長さを調整

音符の上のマスをクリック、または右クリックして音符の長さを調整!

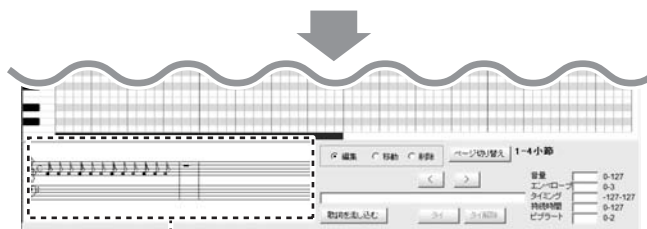
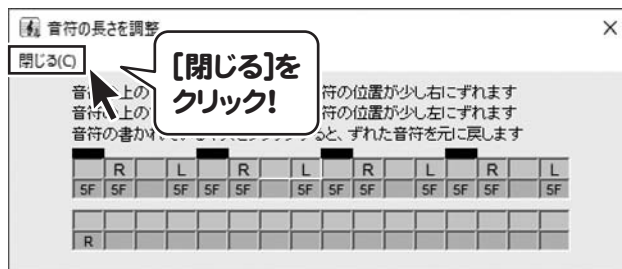
上記のように、隣り合った8分音符と16分音符を近付ける感じで、音符の長さを調整します!

その他の機能・操作説明

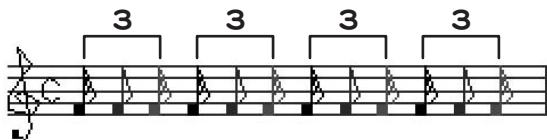
すべての音符の長さの調整が終わりましたら、**[閉じる]**をクリックして、音符の長さを調整画面を閉じます。

設定した音符の長さが音符入力画面の五線譜に反映されます。

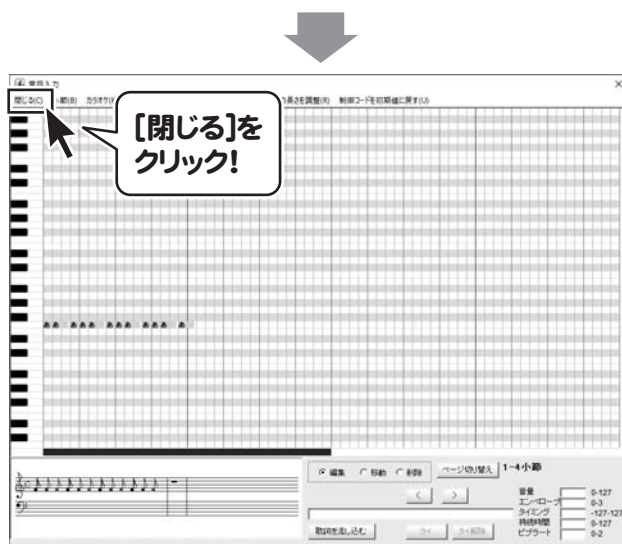
すべての設定が終わりましたら、
[閉じる]をクリックして、音符入力画面を
閉じます。
入力した音符がメイン画面の楽譜に
反映されます。



設定した音符の長さが適用されました!



左に調整した音符は紫、
右に調整した音符は緑で表示されます。



付録 ピアノコード一覧

コードボタン

文字色	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
黒	C	C#	D	D#	E	F	F#	G	G#	A	A#	B
青	C7	C#7	D7	D#7	E7	F7	F#7	G7	G#7	A7	A#7	B7
赤	CM7	C#M7	DM7	D#M7	EM7	FM7	F#M7	GM7	G#M7	AM7	A#M7	BM7

	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
黒	Cm	C#m	Dm	D#m	Em	Fm	F#m	Gm	G#m	Am	A#m	Bm
青	Cm7	C#m7	Dm7	D#m7	Em7	Fm7	F#m7	Gm7	G#m7	Am7	A#m7	Bm7
赤	Cm M7	C#m M7	Dm M7	D#m M7	Em M7	Fm M7	F#m M7	Gm M7	G#m M7	Am M7	A#m M7	Bm M7

コードボタン **C** ドミソ コード構成音



..... 音符配置例

C

ド・ミ・ソ



C#

ド#・ファ・ソ#



D

レ・ファ#・ラ



D#

レ#・ソ・ラ#



E

ミ・ソ#・シ



C7

ド・ミ・ソ・ラ#



C#7

ド#・ファ・ソ#・シ



D7

レ・ファ#・ラ・ド



D#7

レ#・ソ・ラ#・ド#



E7

ミ・ソ#・シ・レ



CM7

ド・ミ・ソ・シ



C#M7

ド#・ファ・ソ#・ド



DM7

レ・ファ#・ラ・ド#



D#M7

レ#・ソ・ラ#・レ



EM7

ミ・ソ#・シ・レ#



付録 ピアノコード一覧

F

ファ・ラ・ド



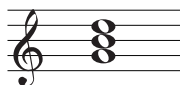
F#

ファ#・ラ#・ド#



G

ソ・シ・レ



G#

ソ#・ド・レ#



A

ラ・ド#・ミ



F7

ファ・ラ・ド・レ#



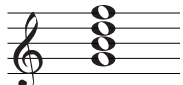
F#7

ファ#・ラ#・ド#・ミ



G7

ソ・シ・レ・ファ



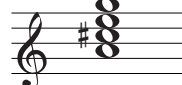
G#7

ソ#・ド・レ#・ファ#



A7

ラ・ド#・ミ・ソ



FM7

ファ・ラ・ド・ミ



F#M7

ファ#・ラ#・ド#・ファ



GM7

ソ・シ・レ・ファ#



G#M7

ソ#・ド・レ#・ソ



AM7

ラ・ド#・ミ・ソ#



A#

ラ#・レ・ファ



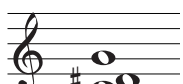
B

シ・レ#・ファ#



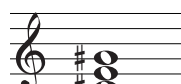
Cm

ド・レ#・ソ



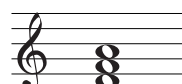
C#m

ド#・ミ・ソ#



Dm

レ・ファ・ラ



A#7

ラ#・レ・ファ・ソ#



B7

シ・レ#・ファ#・ラ



Cm7

ド・レ#・ソ・ラ#



C#m7

ド#・ミ・ソ#・シ



Dm7

レ・ファ・ラ・ド



A#M7

ラ#・レ・ファ・ラ



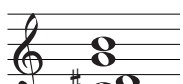
BM7

シ・レ#・ファ#・ラ#



Cm M7

ド・レ#・ソ・シ



C#m M7

ド#・ミ・ソ#・ド



Dm M7

レ・ファ・ラ・ド#



付録 ピアノコード一覧

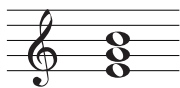
D#m

レ#・ファ#・ラ#



Em

ミ・ソ・シ



Fm

ファ・ソ#・ド



F#m

ファ#・ラ・ド#



Gm

ソ・ラ#・レ



D#m7

レ#・ファ#・ラ#・ド#



Em7

ミ・ソ・シ・レ



Fm7

ファ・ソ#・ド・レ#



F#m7

ファ#・ラ・ド#・ミ



Gm7

ソ・ラ#・レ・ファ



D#m M7

レ#・ファ#・ラ#・レ



Em M7

ミ・ソ・シ・レ#



Fm M7

ファ・ソ#・ド・ミ



F#m M7

ファ#・ラ・ド#・ファ



Gm M7

ソ・ラ#・レ・ファ#



G#m

ソ#・シ・レ#



Am

ラ・ド・ミ



A#m

ラ#・ド#・ファ



Bm

シ・レ・ファ#



G#m7

ソ#・シ・レ#・ファ#



Am7

ラ・ド・ミ・ソ



A#m7

ラ#・ド#・ファ・ソ#



Bm7

シ・レ・ファ#・ラ



G#m M7

ソ#・シ・レ#・ソ



Am M7

ラ・ド・ミ・ソ#



A#m M7

ラ#・ド#・ファ・ラ



Bm M7

シ・レ・ファ#・ラ#



MEMO

お問い合わせ窓口

メールでのお問い合わせ

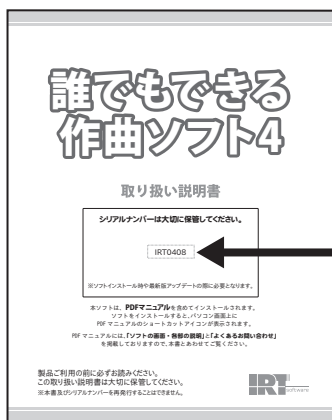
E-mail info@irtnet.jp

サポート対応時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

本ソフトに関するご質問・ご不明な点などございましたら、パソコンの状況など下記の例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、メールにてユーザーサポートまでご連絡ください。

- ソフトのタイトル・バージョン
例:「誰でもできる作曲ソフト4」

- ソフトのシリアルナンバー
本書の表紙に貼付されています。



シリアルナンバーシール
貼付場所

- ソフトをお使いになられているパソコンの環境

- ・OS及びバージョン

例:Windows 10 Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

- ・ブラウザのバージョン

例:Internet Explorer 11

- ・パソコンの仕様

例:SONY XXXX-XXX-XX Pentium III 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

- ・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続しているインクジェットプリンター、
ドライバースoftwareは更新済み

- お問合せ内容

例:～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

- お名前

- ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、
弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

お問い合わせ窓口

IRTホームページ

URL <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

10分間電話サポート(予約制)サービス

10分間電話予約サポート(予約制)をご利用になるには、事前にユーザー登録が必要となります。下記ページからユーザー登録をおこなってください。
※ユーザー登録の際は、シリアル番号の入力が必須となります。
シリアル番号は、本書の表示に貼付しています。

IRTホームページ ユーザー登録ページ

URL <http://irtnet.jp/user/>

10分間電話予約サポート(予約制)の詳しい内容は下記の弊社サポートページをご覧ください。

IRTホームページ サポートページ

URL <http://irtnet.jp/support.htm>

※サポートサービスは、予告無く変更、または終了する場合があります。
最新のサポート情報は、弊社ホームページ(上記)をご覧ください。



株式会社アイアールティー